

文化財調査報告書



昭和62年度

第 18 集

序

文化財は、人々の文化的遺産の証左として地域の文化、住環境、歴史的景観等の地域景観を形成する要因の一つです。本市においては、古代から近代にかけて各期・各種の文化財が存在し、前橋の歴史的景観形成を構成する要素となっています。

文化財保護室は、昭和62年度に教育委員会の機構改組により発足し、各種文化財の保護・保存・育成・継承・享受のための調査・研究・普及活動を実施してまいりました。このことは、市民各位、関係機関、団体、市長部局等の関係者の御理解・御協力におうところが大きであり深く感謝申し上げます。

62年度の保存・整備事業として長年の懸案であった県指定重要文化財の臨江閣本館・茶室の整備に着手できたことがあげられます。臨江閣は、県内に残る明治期の建造物の中で公的に建てられ使用された唯一の純和風の建物です。昭和64年夏頃には、昔の姿で市民に公開・活用していただけるものと思います。また、総社地区歴史散歩道の整備では、3ヶ年計画の第1年次として道標・道路標示等の設置ができました。

調査事業においては、文化財調査として元景寺文化財調査を実施し、1400余点到及ぶ資料を調査しました。中でも江戸時代後期の作である天狗岩堰（天狗岩用水）に係る絵図を調査しました。前橋西部地区の用水・産業史研究に大変役立つものと期待されています。また民俗文化財調査は、桂置地区で実施し、地区住民の協力を得て多大なる成果を上げることができました。

埋蔵文化財の調査については、発掘調査を14遺跡実施し、調査総面積は5.3haに及びました。特に、柳久保遺跡群においては、旧石器時代から縄文時代早期の遺構・遺物が発見されるとともに黒書土器で「田部」の字が検出されました。元総社明神遺跡は第6次の発掘調査を実施した。内堀遺跡は、大空公園整備に係る事前調査で遺構・遺物の分布状況を確認でき、今後の発掘調査と整備計画の資料を得ることができました。

普及事業では、文化財の教材化スライドの作成、文化財展として「甲冑展」、普及講座として「文化財入門」等々を実施し、多くの市民の参加が得られました。

以上のように、文化財保護室発足第1年次として、所期の目的を達したと思います。しかし今後も、市民文化の向上、市民性の向上、文化財の保護、活用、調査についてより一層努力を注ぐ所存であります。

最後に、本文化財調査報告書第18集が、今後の文化財保護行政への一助となることを期待するとともに、文化財保護行政へのご理解、ご協力いただけるための資料となれば幸いと存じます。

昭和63年9月

前橋市教育委員会

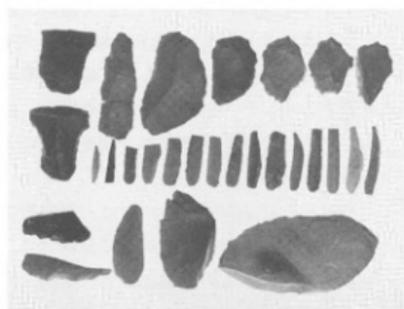
教育長 岡本信正

目次

序	
目次・例言	
I 昭和62年度事業概要	1
II 保護管理運営事業	2
III 整備事業	3
IV 普及事業	5
V 埋蔵文化財発掘調査事業	7
本年度の発掘をふりかえって	7
前橋市内発掘調査地分布図	7
発掘調査一覧	8
1 柳久保遺跡群頭無遺跡	9
2 柳久保遺跡群中鶴谷遺跡(委託調査)	9
3 元総社明神遺跡VI	9
4 内堀遺跡群	10
5 堰越遺跡(委託調査)	10
6 総社桜が丘II遺跡	10
7 大友屋敷II遺跡(委託調査)	11
8 大友屋敷III遺跡(委託調査)	11
9 青葉遺跡	11
10 堰越II遺跡(委託調査)	12
11 北宿遺跡	12

12 芳賀川地遺跡(報告書作成事業) …12

VI 文化財調査事業	13
元景寺文書目録	14
元景寺什物目録	33
あとがき	34
名簿	34



柳久保遺跡群出土土石器

例言

1. 本書は、前橋市教育委員会管理部文化財保護室で行われた昭和62年度の諸事業の概要をまとめたものである。
2. 編集の方針として、各種の調査事業・文化財普及事業や他の事業の成果を広く市民の方々に還元できるようなるべくわかりやすく視覚に訴える表現を心がけた。
3. 本書の企画、編集は高橋正男が担当した。

I 昭和62年度事業概要

前橋市教育委員会の機構改組により、昭和62年4月1日に、前橋市上泉町664-4にて業務を開始した文化財保護室では、次にあげる事業を実施し、市民文化の向上に努めました。

1. 保護管理運営事業

- (1) 国有文化財管理
・国指定史跡(天川・総社)二子山古墳
- (2) 国・県・市指定文化財管理
- (3) 史跡等の清掃・除草及び管理
- (4) 文化財パトロール
- (5) 前橋市蚕糸記念館の整備と管理
- (6) 文化財保護室改修工事

2. 整備事業

- (1) 総社地区歴史散歩道整備
・案内標識等30基設置
- (2) 標識・説明板の設置及びフェンス修理
・円満寺、東照宮、金冠塚古墳など

3. 普及事業

- (1) 文化財めぐり等パンフレットの発行
- (2) 第13回前橋市文化財展
- (3) 第3回文化財愛護作品コンクール
- (4) 柳久保遺跡群現地見学会
- (5) 第6回文化財普及講座
- (6) 第15回前橋市郷土芸能大会
- (7) 教材開発事業

- ・『郷土の文化財』一近代・現代編一発行
- (8) 史跡・文化財めぐり

4. 埋蔵文化財調査事業

- (1) 発掘調査 11遺跡
・柳久保遺跡群 (荒子・荒口町) 2現場
・元総社明神遺跡Ⅵ (元総社町)
・内堀遺跡群 (西大室町)
・堰越遺跡 (大友町)
・総社桜ガ丘Ⅱ遺跡 (総社町桜ガ丘)
・大友屋敷Ⅱ遺跡 (元総社町)
・大友屋敷Ⅲ遺跡 (元総社町)
・菅薬遺跡 (高井町)
・堰越Ⅱ遺跡 (大友町)
・北宿遺跡 (西大室町)
- (2) 整理事業 芳賀団地遺跡
- (3) 試掘調査 20件 3遺跡
- (4) 表面調査 43件

5. 文化財調査事業

- (1) 元景寺文化財調査
・前橋市文化財調査委員による調査
- (2) 民俗文化財総合調査
・桂萱地区
- (3) その他の文化財調査
・甲冑調査など



文化財保護室



柳久保遺跡群より市立荒子小に移築保存した石室

II 保護管理運営事業

本市に所在する豊かな文化財を保護し、また活用するため、本年度においても下記のような事業を実施いたしました。

1. 国有文化財管理

国指定史跡の鶴社二子山古墳と天川二子山古墳は、大谷好夫さんと御供徳雄さんを監視人として日常の管理を実施しました。除草や清掃はもちろ



ん、アメリカシロヒトリの発生を未然に防止するため防除作業も行いました。今年の発生状況は例年になく少なく、桜等の樹木が美しく保たれ、多くの見学者がいました。



女 期 除 草

けるよう心がけました。

を行っていま

す。
いつ史跡を訪れても、美しい状態で見学していただ

4. 文化財パトロール

地区名	指導員名	市内を5地区に分け、各地
中 央	二子山古墳	区に文化財保護指導員を委嘱
鶴社・元給社	新木一邦史	し、指定文化財を中心に文化
広瀬・山三	岡 登 彦 彰	財パトロールを実施しました。
芳賀・母型	中島幸重彦	パトロールの状況は月に二回
菟 南	森村伊勢郎	程度文化財保護室へ報告され、すばやい対応をとることができました。

5. 前橋市蚕糸記念館の整備と管理

本館は、明治時代の代表的な洋風建築で、昭和56年に県指定重要文化財に指定されました。



前橋市蚕糸記念館

翌57年から一般公開を始め、現在に至っています。来館者は、年間1万人を超える状況です。本年度は、展示品の補修を行いました。

2. 国・県・市指定文化財管理

市内には、国指定の文化財等が21件。県指定が36件、市指定が79件あります。各文化財には、標

区分	国文化財	県文化財	市文化財	無形文化財	民俗文化財	国指定重要文化財	合計
国指定	3	11	1	0	0	6	21
県指定	31	4	0	1	0	0	36
市指定	54	15	0	7	3	0	79
合 計	88	30	1	8	3	6	136

(63. 3. 31現在)

柱と説明板を設置しており、史跡めぐりで訪れる人々の便に供しています。

3. 史跡等の清掃・除草及び管理

番号	物件名	区分	所在地	面積
1	鶴社山古墳	史跡	山は地一丁目	2,481㎡
2	鶴社山古墳	史跡	山は地一丁目	2,481㎡
3	今井孝吉古墳	史跡	歩 井 町	3,452㎡
4	伊藤重吉古墳	史跡	大寺町一丁目	423㎡
5	山田宗茂古墳	史跡	尾花町一丁目	3,825㎡
6	天和山古墳	史跡	尾花町二丁目	793㎡
7	八幡山古墳	史跡	尾花町四丁目	10,647㎡
8	鶴二子山古墳	史跡	西大塚町	10,955㎡
9	中二子山古墳	史跡	東大塚町	10,262㎡
10	鶴二子山古墳	史跡	西大塚町	17,283㎡
11	鶴二子山古墳	史跡	東大塚町	1,797㎡
12	五通山古墳	史跡	南五通町	2,877㎡
13	五通山古墳	史跡	南五通町	4,877㎡

左表の史跡については、地元自治会のほか、シルバ一人材センター等に委託して除草と清掃

6. 文化財保護室改修工事

昭和62年度に、文化財保護室が社会教育課から分離・独立し上泉町に設置されました。昭和61年度末の第一期工事に続き、事務室の拡張とその他の施設の改修を第二期工事として行いました。

事務の効率化と遺物の収蔵機能の両面に渡り、大幅な充実を図ることができました。

Ⅲ 整備事業

1. 総社地区歴史散歩道整備

17集では、総社地区歴史散歩道整備（以下歴史散歩道）の全体の概要を記すとともに、総社地区全体の総合的な整備（案）について述べました。

昭和62年度は、歴史散歩道整備の第1年次（3年計画）です。62年度の整備内容は次のとおりでした。

右頁の写真にあるような案内標識を20基、壁面プレート5基、路面プレート5基、下図にある箇所に設置しました。

特に、62年11月22日に行われた、全国歩け歩け大会（上州ツーター・マーチ）の歴史コースが総社地区であったため、期日に間に合うよう歴史コー

スにあてはまる10基を整備しました。下の写真のように全国から集った方々に利用してもらえました。他の案内標識等の設置は総社地区を中心に行いました。これらの設置は各箇所の地主さんの快

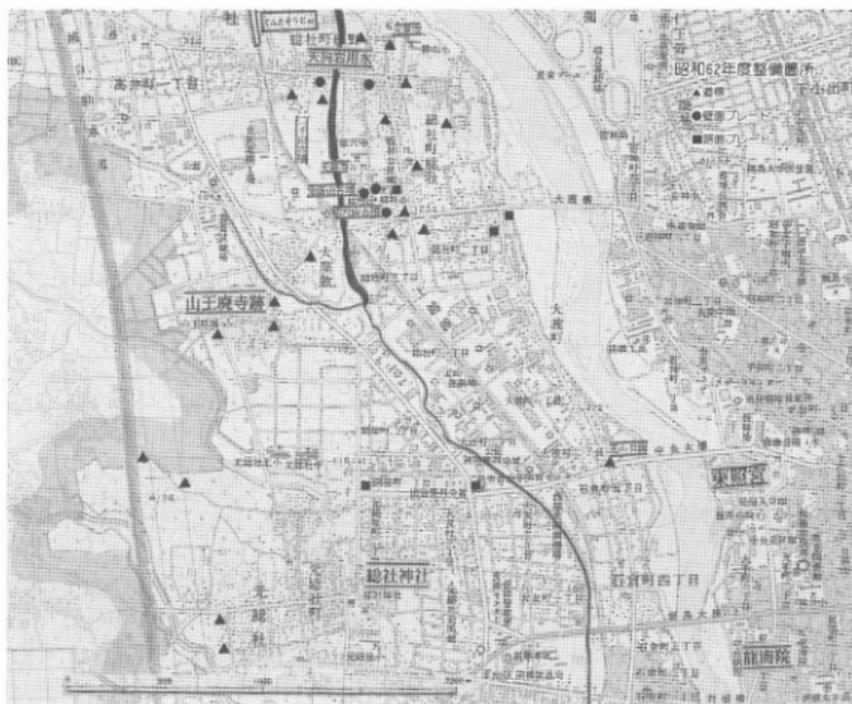


ツーター・マーチ

い承諾なしには為し得ないもので、この場を借りて感謝申し上げます。

次に63年度の整備ですが、案内標識等は62年度と同じ合計30基設置し、

下図のように、総社地区を中心として、J Rの群馬総社駅と新前橋



駅からのコースの整備を予定しています。また、歴史散歩マップも作る計画で、一目見て総社地区の史跡と文化財が分るようなビジュアルなものを考えています。

総社地区は、将来、対岸の利根川左岸に整備されるイベント・ホールや日本庭園などのコンベンション施設に近接した、前橋の歴史と文化を多くの人々に知ってもらうための貴重なヒンターランド（後背地）としての機能を担わせられる可能性のある地区です。

その時のために、この歴史散歩道の整備はごく限られた整備ではありますが、将来そのような機能を担うための条件整備として位置づけておく必

要があるものです。

総社地区には、全国的に貴重な古蹟や文化財があり、また、江戸時代の城下町、佐渡街道の面影を残す町の地割や地名などが残っており、人々もまた、それらを地区の誇りとして大切にしています。このような好条件を失わず、又、有効に生かすようにして歴史散歩道を整備しなければならないと考えます。

歴史散歩道の整備は緒についたばかりですが、総社地区の奥深く豊かな歴史環境が、訪れる人々に湧き出ているがごとく触れ、体験できるような整備をしたいと考えています。



壁面プレート

道標

路面プレート

2. 標識・説明板の設置及びフェンス修理

次のように、指定文化財・史跡を中心とした、標識・説明板等の設置をしました。

○標識 2基

（円満寺石造 阿彌陀三尊像）昭和60年3月27日に指定されたもの。
（東照宮能装束塙）昭和62年6月24日に指定されたもの。

○説明板 2基

金冠塚古墳及び前橋城車橋門跡 2基書替

○車止め 2基

前橋城車橋門跡の出入口に各々1基ずつを付け替えた。

○フェンス修理（金冠塚古墳）

金冠塚古墳の民地との境界部分の未設置箇所とのフェンス及び修理箇所、合計3ヶ所のフェンスの修理及び設置。



東照宮標柱

金冠塚古墳説明板

前橋城車橋門跡車止め

Ⅳ 普 及 事 業

原始・古代からの歴史を有する前橋市には、数多くの文化財が残されています。普及事業は、こうした貴重な文化財を市民の方々に紹介し、文化財の価値を理解していただき、保護・保存・活用に向けての意識の高揚を図ることをねらいとしています。62年度は、次に挙げる事業を実施し、普及活動に努めました。

1. 文化財めぐり等パンフレットの発行

文化財への市民の関心が高まり、史跡めぐり等の機会が増える中で、市内の文化財を紹介するパンフレットがさ少となり、市民の要望に答えるためパンフレットの改訂版を発行しました。

○文化財めぐりパンフレット

市内を旧沼田街道沿い、芳賀・桂萱、朝倉・広瀬、元総社・総社、城南の5コースに分けて作成 B4版 各1500部 計7,500部

○前橋市委承記念館のパンフレット

A4版 16,000部



文化財めぐりパンフレット

2. 第13回前橋市文化財展

○日 時 昭和62年8月5日(水)～8月25日(火)

○会 場 前橋市立図書館2階展示室

○テーマ 「近世の武具甲冑」

—江戸時代の前橋—

教育委員会では、昭和61年度から市内に現存する武具甲冑の調査を続けてきました。62年度の文化財展は、その調査の成果を紹介するとともに甲冑を着用した江戸時代の前橋の様子を知っていただくため、武具甲冑展を開催しました。展示品は、

甲冑8領、武具70点、写真・パネル等70点でした。市の広報・群馬テレビ・新聞等報道機関にも大きく取り上げられ、期間中3000名を超える見学者が訪れ、好評のうちに終了しました。



文化財展

文化財愛護作品コンクール

市長賞

故郷の歴史を語る文化財

1中2年 関野優和さん



春日中1年 中島美智子さん

3. 第3回文化財愛護作品コンクール

次代を担う児童・生徒に文化財愛護の精神を培おうと、夏休みを利用して文化財愛護に関するポスターと標語を募集しました。市内の小・中学校28校から137点もの優秀な作品が集まりました。10月8日に行われた文化財調査委員等による厳正な審査の結果、32名が入賞しました。主な賞の受賞者は、次のとおりです。

ポスターの部

市長賞 春日中1年 中島美智子

教育長賞 栗小5年 櫻山 春子

春日中2年 長部 実明

優秀賞 深谷小4年 須藤 正敏

飯島小6年 橋手 信幸

標語の部

市長賞 1中2年 関野 優和

教育長賞 天小6年 丸田 智子

春日中6年 二宮 志麻

優秀賞 飯島小4年 秋山ちづ子

天小6年 本間 美穂

4. 柳久保遺跡群現地見学会

○日 時 昭和62年8月22日(土)・23日(日)

○会 場 前橋市荒子・荒口町柳久保遺跡群

昭和59年度より実施してきた発掘調査が62年度に終了することに伴い、いままでの成果を広く市民の方々に知っていただくため、現地見学会を開催しました。群馬県で初めて出土した旧石器(細石刃)、縄文時代の落とし穴、古墳の石室等の貴



柳久保遺跡群現地見学会

重要な遺構・遺物が、実際に見学できることから、600人を越える見学者が訪れ、文化財の普及に大いに役立ちました。

5. 第6回文化財普及講座

62年度は、だれでもが参加できる文化財講座ということで、市内に現存する文化財についての初歩的な内容の講座にしようとする各分野の入門シリーズを開催しました。各回とも平均して50名前後の受講生がいましたが、最終回は前橋市立図書館と共催により、それまで学習した内容の現地学習という意味で、市内各所の「文学碑・史跡めぐり」を行いました。

講座名と講師

回	日時	講座名	講師
1	10月17日(土)	石造物入門	近藤義雄氏(前橋市文化財調査委員)
2	10月31日(土)	甲冑入門	高橋賢高氏(群馬甲冑会会長)
3	11月3日(水)	民舎入門	井田安雄氏(伊勢崎工業高校教諭)
4	11月7日(土)	建築物入門	藤原雄氏(曹田高寺教諭)
5	11月8日(日)	文学碑・史跡めぐり	福田純郎(文化財保護室長) 青木貴美子(図書館室長兼調査室長)

6. 第15回前橋市郷土芸能大会

○日時 昭和62年11月14日(土) 午後2時～4時
○会場 前橋市民文化会館 小ホール

郷土芸能大会は、前橋の伝統ある郷土芸能を広く市民の方々に公開し、保護・育成を図るとともに市民文化の向上を目的として毎年開催してきました。本年度は、次の出演団体がみごとな郷土芸能を披露しましたが、例年にない多くの入場者があり大盛況でした。

○出演団体

- ・裸みこし(南町水神社氏子会)
- ・駒形の祇園(駒形町琴平会)
- ・江田の獅子舞(江田町保存会)
- ・総社神社祭り太鼓(元総社町保存会)

7. 教材開発事業

スライド教材『郷土の文化財』—近代・現代編—の解説書を刊行し、昨年作成したスライドと併せて、市内の小・中学校、公民館等に配布しました。既刊の二編(原始・古代編、中世・近世編)とともに広く活用されることを期待します。

8. 史跡・文化財めぐり

本年度も20団体1,000人ももの史跡・文化財めぐりの依頼がありました。注目されるのは、その内の4分の1が県外からの団体ということです。前橋所在の文化財を遠方より見学に来ていただけるということですから、今後増々、文化財の普及・整備等に心がけていかなければならないでしょう。見学場所としては、市内一円が主ですが、方面として、総社・元総社地区が比較的多かったようです。

9. その他

- 体験発掘(柳久保遺跡群・天川川)
- 遺跡見学会(元総社明神遺跡・元北小)
- 「広報まえばし」への執筆
- 講座への講師派遣
- 文化財資料の貸し出し
- 文化財に関する問い合わせ・相談への対応
- 前橋市中央公民館文化財展示室の展示替
- 前橋市蚕糸記念館の展示替



文化財普及講座

V 埋蔵文化財発掘調査事業

本年度の発掘をふりかえって

本年度は、14遺跡11現場の発掘調査・芳賀団地遺跡の整理・民間開発に伴う年間49件にのぼる確認調査（表面調査43件・試掘調査20件）等の事業を実施しました。

これら、市内全域にわたって行なわれた調査の結果、群馬県並びに前橋市の古代史を解明する上での多くの資料を得ることができました。

特に、昭和59年度から継続事業として行なわれてきた城南住宅団地造成に伴う柳久保遺跡群の発掘調査で、頭無遺跡から関東地方でも類例の少ない、県内では初めての今から約13000年前の旧石器多数を抽出したことは特筆に値するでしょう。また、同遺跡では縄文時代早期の落とし穴状遺構33カ所も検出されています。

同じく下鶴谷遺跡（61年度発掘、62年度整理）からは、完全な形で復元できたのは県内で唯一といわれる鶏ヶ島台式土器をはじめとして尖底

土器など類例の少ない縄文土器を発掘しています。

さらに中鶴谷遺跡では、古墳時代～奈良・平安時代の住居跡総計72軒、古墳1基、その他の遺構を調査しました。天井石は取り除かれていたましたが、古墳石室の残存状態は良好で文化財保護の立場から関係各課と現状保存の協議を行った結果、市立荒子小学校の校庭に移築・復元・保存されることになりました。市内には国指定史跡の古墳が8カ所ありますが、今回のような小古墳の保存例は初めてであり、これからの文化財保護行政に多くの指標を与えるべき事でした。

内堀遺跡群（大空公園構想にかかわる事前試掘調査）では、総延長約20kmにわたるトレンチ調査によって、上毛野氏の本拠地と推定される大空三二子古墳周辺の遺跡の分布状況を確認することができました。

そのほか元総社明神遺跡・民間開発による発掘調査等でも貴重な資料を得ることができました。



昭和62年度
埋蔵文化財
調査地分布図

発掘調査一覧

順	調査名	区画	地番	調査面積㎡	調査理由	調査種別	発掘区画	本調査期間・備考
1	新大友屋敷Ⅱ(新築)	62E5	新子町1327-6 分	12,000	新築住宅団地造成	有	有	S62.4.21-62.10.71
2	新大友屋敷Ⅱ(新築)	62E4	新子町1299-1 外	17,300	新築住宅団地造成	有	有	S62.4.6-62.9.26
3	元船社明神酒造場	62A24	元船社町2303-1 外	1,309	区画整理事業	有	有	S62.5.1-62.12.15
4	内船通路跡	62E11	西大宮町字内船 外	889,020 (内:660)	公園造成事業	有	有	S62.6.20-62.10.31
5	豊越通路	62A21	大友町3-2-4	1,500	店舗(スーパーマーケット)建設	有	有	S62.5.6-62.6.77
6	船社船が丘通路	62A25	船社船が丘107-1	150	宅地分譲	有	有	S62.5.18.19
7	大友屋敷Ⅱ通路	62A26	元船社町12街区3690	460	店舗(肉店)建設	有	有	S62.6.25-62.7.16
8	大友屋敷Ⅱ通路	62A27	元船社町12街区3691-1	210	賃貸住宅建設	有	有	S62.9.24-62.10.9
9	豊越通路	62A29	高井町1-12-2	100	賃貸用住宅建設	有	有	S62.12.8-62.12.18
10	豊越Ⅱ通路	62A29	大友町3-8-6.7	170	事務所兼賃貸住宅建設	有	有	S63.2.15-63.2.29
11	北船通路	62E13	西入道町1719-1 外	4,200	道路改良工事	有	有	S63.3.2-63.3.9
12	芳賀団地通路		馬場町、小坂子町、五代町	927,900	芳賀東部工業団地造成	有	有	
13			高井町1 28 10 外5筆	1,066	倉庫建設	無		
14			新成町782 外4筆	1,657	宅地分譲	無		
15			青柳町字香家町120 外4筆	5,234	店舗(花火)建設	無		
16			上船井町字下1905-1 外3筆	3,195	資材置場造成	無		
17			元船社町字船渠339-1 外2筆	1,600	ビル建設	無		
18			千代田町3-12-9	782	ビル建設	無		
19	杉山Ⅱ通路	62D2	上船井町1701-3・4	6,524	ライオンセンター建設	有	有	設計変更により工事を凍結
20			6内町418 外3筆	3,686	保育所建設	無		
21			上新田町1186-2	2,000	宅地分譲	無		
22			豊越古町字戸107 外3筆	2,294	店舗建設	無		
23			元船社町字船渠3650-1	707	マンション建設	有	無	
24			下船井町字14通り296-1 外14筆	9,700	宅地造成	無		
25			船社町高井字十郎134 外4筆	580	送電線移設建設	有	無	
26			船社町船渠13 6-8	2,504	店舗(衣料店)建設	有	無	
27			大友町2-8-9 外4筆	1,864	ビル建設	無		立会い調査
28			元船社町2474-1	603	家行売付建設	無		
29			小船通路町字西橋下791-2	3,296	資材置場造成	無		
30			新成町字御所505-1 外15筆	13,427	宅地分譲	無		
31			西内町5-24-7 外6筆	1,452	店舗(自動車販売)建設	有	有	
32			五代町1198-1・2	1,407	複層プラント建設	無		
33	二子山前通路	62H2	天川町106 2 外5筆	1,563	店舗(書籍)建設	有	有	立会い調査で調査の継続が完了した。
34			小坂子町字村西542-1 外3筆	2,428	店舗(レストラン)建設	有	無	
35			船社町船渠字船渠寺船渠町7151-2, 7154	1,495	駐車場管理棟建設	有	無	立会い調査
36			大川原町字東下119-2 外15筆	6,485	店舗(スーパーマーケット)建設	有	無	
37	西船通路	62E12	二之宮町1533-1 外4筆	6,526	牛乳プラント建設	有	有	立会い調査で調査の継続が完了した。
38			船渠町字船渠8-1 外2筆	2,726	駐車場管理棟建設	有	有	
39			舟形町849-1 外5筆	6,370	宅地分譲	有	無	
40			上大島町103-6, 114	2,477	工場(木材加工)建設	有	有	
41			元船社町1367	1,345	宅地造成	無		船渠町に立会いを求める
42			幸塚町68-1	1,457	宅地造成	無		
43			豊中町434 2 外3筆	1,723	工場(食品加工)拡張	無		
44			船渠新田町字村西311-1 外3筆	3,100	宅地分譲	有		
45			下小川町1-32-6, 32-9	1,157	マンション建設	無		
46			船社町船渠字船渠5104-3 外	3,100	宅地分譲	無		
47			下大船町字高家町56内	19,773	宅地分譲	無		
48			船渠町359, 360-2	6,048	病院建設	無		
49			下船井町字本橋1 1 外19筆	6,073	宅地造成	無		
50			下船井町字中橋420 外29筆	20,567	宅地分譲	無		
51			前船井町字村西154 2 外6筆	1,442	マンション建設	無		
52			西船町611-3・4	1,778	工場建設	無		要試験
53			舟形町字八幡町583 4 外8筆	2,379	自動車修理工場	無		
54			下大島町字下下1156-1 外14筆	14,364	自動車修理工場	無		



遺跡位置図(国土地院院・6万分の1「前橋」)



遺跡位置図(国土地院院・6万分の1「前橋」)



遺跡位置図(国土地院院・6万分の1「前橋」)



事業名 城南住宅団地造成工事(前橋工業団地造成組合)

所在地 前橋市荒子町1327-6ほか

調査期間 82年4月21日～82年10月21日

担当者 前原 豊・関根吉晴

面積 12,000㎡

調査の経緯 58年度分布調査、59年度試掘調査が実施され、本事業は59～82年度までの4ヶ年にわたって実施された。調査成果は『柳久保遺跡群I～VII』の発掘調査報告書に掲載されている。

立地 赤城山南麓の標高110mの丘陵性台地に立地し、沖積地との比高は3m。

遺構・遺物

旧石器時代 第I～III文化層の3枚の

文化層が検出された。第I文化層からは珪質頁岩で製作された磨石1、砥石刃122、荒型彫刻刀6、掻器、削器、彫刻刀削片、細石核剥離剝片、剝片等の石器が約430点出土。第II文化層からは黒色頁岩と黒曜石製のナイフ形石器2点が出土。広城火山灰A1層下の第III文化層から黒色安山岩製のナイフ形石器2、剝片が数点出土。

縄文時代 土器41、黒石7、石器配置遺構2、灰土跡4、窓ちみ12の他に早期押型文、沈線文土器・石器等が出土。

古墳時代 石田川式期の住居址1。

平安時代 住居址1、井戸1、粘土瓦埋瓦1、土坑3、炭黒3。

事業名 城南住宅団地造成工事(前橋市工業団地造成組合)

所在地 荒子町中橋谷

調査期間 昭和82年4月6日～昭和82年9月26日(発掘調査)

担当者 千住宏生・藤田順一

面積 18,700㎡

調査の経緯 昭和59年度から始まった発掘調査も4年目の最終年度となった。

立地 赤城山南麓の標高105～110mの台地上にあり、北西側から南東側へ傾斜している。

遺構・遺物

旧石器時代 検出されなかった。

縄文時代 土坑14基と前庭・中庭を中

心とする土器・石器を出土した。

弥生時代 後期土器片が数点検出された。遺構は検出されなかった。

古墳時代 住居址1軒と古墳1基を出土した。住居址・古墳共に後期後半から末期に位置づけられる。古墳は円墳で横穴式石室を有する。

奈良・平安時代 住居址44軒、獨立柱建物址9棟、井戸11基、炭灰1基、竪列1列、溝1条、土坑1基を出土した。住居址は古墳時代から続く集落である。獨立柱建物址・井戸・竪列は出土遺物は少ないが、集落址に併せたと考えられる。他に時代不明の住居址14軒、土坑58基、溝2条を出土している。

事業名 前橋都市計画事業元総社(西橋第三明神)地区土地区画整理事業(区画整理第一種)

所在地 前橋市元総社町2803番地の1他

調査期間 82年5月1日～82年12月15日

担当者 藪島勇一・加部二生

面積 1277㎡

調査の経緯 区画整理第一種より、上記事業に伴う調査依頼があり、昭和57年以来発掘調査が行われてきている。

立地 秩名山(山)斜面が前橋台地へと移行する午池川西岸に広がる台地上に日本のトレンチ調査を行った。

遺構・遺物

縄文時代 前期～後期の土器片を複数。

古墳時代 前期～後期の住居址を多数検出している。前期の住居址からは構式土器も出土した。後期の住居址は50軒以上に及び、覆土中にF Aを包含する住居址も確認した。特筆されるのはこの時期の柱を発見したことで、F A直下の礎とF A降下後の礎を別の地区で出土した。

奈良・平安時代 住居址は外ほどが10世紀代の所産であった。他に奈良時代の井戸1基、断面逆台形の米沼に隣接すると思われる溝を1条調査している。

中世西・悪徳域の住居址を2カ所で見出し、カワラケ、石塚、古銭等が出土した。注目されるものに、矢倉に伴う鉄瓦がある。

4. 内堀遺跡群



遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前橋」)



事業名 仮称大室公園整備事業(公園緑地課)

所在地 前橋市西大室町字内堀ほか4字
調査期間 62年6月29日～62年10月31日
担当者 吉屋守夫・桑原昭

面積 200,000㎡(369,000㎡のうち)
調査の経緯 昭和62年5月11日前橋市長藤井晴一より教育長地本徳正あてに確認調査依頼が提出され、前橋市埋蔵文化財発掘調査団が市費によりトレンチ掘削の方法で確認調査を行った。

立地 赤城山南麓の標高120～135mにあり、丘陵地、谷地、刈川、沼、古墳と起伏に富み、赤城山を遠くに望む風光明媚な地区である。

遺構

縄文時代 住居跡34軒、住居跡が49軒。弥生前・中期、古墳後期以降 住居跡46軒、住居跡が56軒。弥生後期～古墳前期 住居跡14軒、住居跡が12軒。古墳中・後期 住居跡32軒、住居跡が108軒。

古墳時代 堀木遺跡北地区より群列の柱穴19個と溝1条確認。

遺物

縄文土器992点・3器体。弥生土器620点・2器体。土師器18322点・37器体。須恵器160点・1器体。ほか陶器・石器・陶器等。

5. 遷越遺跡



遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前橋」)



事業名 民間開発(店舗建築)

所在地 前橋市大友町三丁目2-4、2-5

調査期間 昭和62年5月6日～6月27日
担当者 折原洋一(山武考古学研究所)

面積 1,500㎡

調査の経緯 62年1月8日表土調査実施、同1月28日試掘調査実施、同5月6日本調査実施
立地 本遺跡は利行より西方1.5kmの利根川右岸上に位置する。本地域は比較的平坦な地形を有し、浅い谷と低台地より構成され、この低台地上の一面に新吾区が所在する。また、新吾区の南東部は浅い谷へ連なる斜面を成している。

遺構・遺物

縄文時代 中期の加曽利E式土器および石器が出土している。土器は全て破片で、磨削の著しい例が多い。遺構の検出は皆無である。

弥生時代 なし。

古墳時代 なし。

奈良・平安時代 多量の日石石を覆土に含む遺構群として、溝6条、土垣14基、井戸4基が検出されている。日石石を覆土に含まない遺構として、住居18軒、溝10条、土垣50基以上が検出されている。これら遺構群の中でも、湧水点を有する溝と群集して存在する土垣の性格は興味をもたれる。

6. 総社桜が丘II遺跡



遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前橋」)



事業名 民間開発(建売分譲住宅建設)

所在地 前橋市総社桜が丘1037第1地先

調査期間 表土調査 昭和62年4月21日
試掘調査 昭和62年4月30日
発掘調査 昭和62年5月18～19日

担当者 速藤和夫・新保一美
面積 3303㎡(発掘面積50㎡)
調査の経緯 開発事業者 立見一帯氏より開発計画に伴う試掘調査依頼が提出され、調査の結果住居址一軒を検出した。これにより開発事業者と協議の結果、前橋市教育委員会監督で発掘調査を実施することとなった。

立地 本遺跡は前橋市の西北端、群馬総合駅の北約1.5kmの榛名山東麓が前橋台地へ移行する部分の舌状台地上に所在する。南方50mには昭和59年に発掘調査を行った総社桜が丘遺跡が位置する。

遺構・遺物

奈良・平安時代 旧建物のため調査地の大半が覆土を受け、わずかに住居址一軒のみが検出されたにとどまった。総社桜が丘遺跡との距離からして、この住居址は前記遺跡と同一集落内にあつたと考えられる。住居址の残存状態は縦長10mと狭く、わずかに須恵器高台残4点が出土、うち1点は「田」の字と思われる墨書があるが、上半部が欠損している。

7. 大友屋敷Ⅱ遺跡



遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前橋」)



事業名 民間開発(有)船寿し店舗建設
所在地 前橋市元船社町12街区3691-1
調査期間 昭和62年6月25日～7月18日
担当者 遠藤和夫、新保一美 (市教育委員会)・金子正人、白石光男 (スナガ環状建設株式会社)

面積 450㎡

調査の経緯 前橋市宅地開発指導要綱に基づき事業者(有)船寿しの店舗建設工事に先がけて前橋市教育委員会に試掘調査の依頼があり、その結果、溝、井戸跡等が確認されたため事業者と教育委員会が協議調整の上調査することになった。
立地 様名の裾野に広がる前橋(洪橋)

台地を様名山から流下する数条の河川(牛池川・澗川)に開析され、赤城様名の総合谷から関東平野に入り始める利根川の右岸で上野国輪社神社から400m東に位置する。

遺構・遺物

溝6条・地下式土坑1基・井戸址1基
 井戸に伴う遺構1基
 ビット状遺構9ヶ所
 溝は西から東にかけて幅分かれて走行し、最大幅4m最小幅は1mである。地下式土坑は地下室部が2.1m×2.1mの方形に造られており、中世の「やぐら」や「土倉」と類似する。井戸址を囲う状態で礎石を伴う遺構が確認された。

8. 大友屋敷Ⅲ遺跡



遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前橋」)



事業名 民間開発(共同住宅建設)
所在地 前橋市元船社町12街区3680-1
調査期間 昭和62年9月21日～10月15日
担当者 遠藤和夫・新保一美 (市教育委員会)・金子正人・白石光男 (スナガ環状建設株式会社)

面積 210㎡

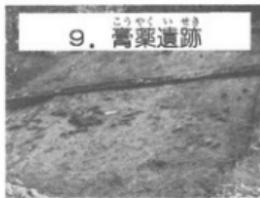
調査の経緯 大友屋敷Ⅲ遺跡は事業者亀尾基久氏による共同住宅2棟の建設のため前橋市教育委員会が歴史文化財保護調査の依頼を受け試掘調査を行った。その結果、住居址、溝等が確認されたため事業者と教育委員会が協議調整の上調査が行われることになった。
立地 様名の裾野に広がる前橋(洪橋)

台地を様名山から流下する数条の河川(牛池川・澗川)に開析され、赤城様名の総合谷から関東平野に入り始める利根川の右岸で上野国輪社神社から400m東に位置する。

遺構・遺物

古墳時代 住居址3軒
 奈良・平安時代 住居址2軒
 古墳時代の3号住居址はほぼ正方形でカマドは東端中央部に配置され良好な遺存状態で確認された。遺物も坏・甕等15点が復元可能な状態で検出されている。その他に大友Ⅱ遺跡と関連すると考えられる溝が1条確認された。

9. 蕎麦遺跡



遺跡位置図(国土地理院・5万分の1「前橋」)



事業名 民間開発(遊技場施設建築)
所在地 前橋市高井町1丁目12番乙地
調査期間 表土調査 昭和62年9月30日
 試掘調査 昭和62年11月5日
 発掘調査 昭和62年12月6～18日

担当者 遠藤和夫・新保一美

面積 4287㎡の内100㎡

調査の経緯 開発事業者 朴世完氏より開発計画に伴う試掘調査依頼が提出され、調査の結果住居址1軒を検出した。これにより開発事業者と協議の結果、前橋市教育委員会発着で発掘調査を実施することとなった。

立地 本道筋はJR前橋駅より北北西

4kmの前橋台地上に位置し、様名山水系の中流澗川と八幡川にはさまれた舌状台地上に所在する。北北西130mには昭和59年に発掘調査が行われた柿木遺跡がある。

遺構・遺物

古墳時代 住居址一軒を検出した。この辺りがかつて沼沢地であったとことを裏付ける如く、盛土がなされていた。その中に須恵器大甕・長頸甕等の破片や縄文土器片に至る遺物片が無数に散在している。住居址の残存状況は、壁高8cmと良くなく、柱状炭化物が床面に置っており、出土遺物は少く、床室直上より石田川式土器片、高坏脚部また住居址中央部より枕状の長方形の石が出土している。

10. 堀越II遺跡



遺跡位置図(国土地理院、5万分の1・新橋)



事業名 民間開発(共同住宅建設)
所在地 前橋市大友町386387
調査期間 昭和63年2月15日～
昭和63年3月31日

担当者 遠藤和夫・新保一美(市教育委員会)・金子正人・白石光男(スナガ環境調査株式会社)

面積 約170㎡

調査の経緯 開発業者後藤ノボル氏より共同住宅建設に伴う試掘調査の依頼を受け昭和63年2月6日に実施した結果奈良・平安時代の住居址が確認された。

このことから開発業者と充分協議調査を計り、依頼を受けて建設工事により遺構が損われる部分について発掘調査す

るに至った。

立地 本調査地は、上野国総社神社東約500m付近に位置し、標高113～114mの前橋台地上に立地する。

遺構・遺物

本遺跡は平安時代の住居跡6軒と土坑2基が検出された。住居跡は重櫓と障子により明瞭さを欠いたが、6軒中2軒は住居跡、カマドとも比較的良好な保存状況であった。土坑は出土遺物がなく時期決定の資料に欠ける。

出土遺物は国分期の物が多く、完形品は、埴3点、杯2点、甕1点が検出された。

11. 北信遺跡



遺跡位置図(国土地理院、5万分の1・新橋)



事業名 国庫補助(道路改良工事事業)
所在地 前橋市西大室町1719-1～662番
調査期間 表面調査 昭和63年2月5日
発掘調査 昭和63年3月3～9日

担当者 遠藤和夫・新保一美

面積 1307㎡(発掘面積120㎡)

調査の経緯 前橋市長藤掛清多より市道556号線の改良工事に伴う発掘調査依頼が提出され、調査の結果生息跡2軒・井戸跡1基を検出した。これにより前橋市土木課と協議の結果、前橋市教育委員会副賞で発掘調査を実施することとなった。

立地 本遺跡は前橋市の東端部、西大室町の聖妻神社より100m程東へ寄った赤

城火山南面上に立地する。遺構は聖妻神社周辺に広がる丘陵と大室神社北方に広がる丘陵の中腹地に検出された。両丘陵が形成する谷地状部分は、確認調査の結果、かつては河川であったことが察われ、ローム形山は、わずかに遺構確認部分だけに認められたにすぎなかった。

遺構・遺物

奈良・平安時代 住居跡2軒は、いずれも小規模土壌改良と耕作により、残りが悪く、床面までの深さは約10cmと20cm割であり、遺物も小破片のみを出土するにとどまったが、壁面から外部に作り出す竈形式であることと、床面直上の遺物片などから時代判定をした。

12. 芳賀団地遺跡



遺跡位置図(国土地理院、5万分の1・新橋)



事業名 芳賀団地遺跡発掘調査整理事業
62年度事業 第2巻刊行のための整理作業
第4年目(芳賀東団地遺跡概西分)、
第3巻(芳賀東団地遺跡概東分時代編)
刊行のための整理作業1年目。

第2巻に係る作業。執筆者からの異議稱と図面の照合を行ない、食い違いの修正を行なった。この作業により確定した遺構平面図に基づき全体図の作成を行なった。また、遺構相互の切り合い・新旧関係についても原稿・図面の修正を行なった。

ビット、溝については、ままでの執筆担当者も交えて校訂、確定の作業を実施した。

確定した原稿、図版、写真についてはレイアウトにあわせて台紙に貼り、11月に印刷の発注を行ない、年度末に納入された。

第3巻に係る作業。午後半ばより、第3巻の遺構・遺物の整理作業を実施している。遺構については整理担当者による全体図作りの作業と、遺物については種別ごとに先立っての検出と復原を実施した。

63年度は、63年3月の編集委員会の審議に基づいて、原稿執筆を依頼する予定。12月までに校訂し、64年度当初に刊行の予定。作業としては、遺構のデータ表作りと、遺物の実見・観察表の執筆を行なう。

VI 文化財調査事業

文化財調査事業は、前橋市文化財調査委員による調査、民俗文化財調査委員会による民俗文化財総合調査、職員等による各種文化財調査からなっています。

調査は年間でのべ80日ほど実施し、その内容は、文化財調査報告書、市広報等で市民に公表しています。

1. 元景寺文化財調査

- 名称 気雲山春光院元景寺
 - 所在 前橋市総社田植野字東新井150
 - 住職 大滝 昭雄
 - 宗派 曹洞宗。双林寺末。本尊釈迦牟尼仏。
- 初代總社城主秋元長朝が天正18年(1590)父景朝菩提のため、法現寺を廃して創建したと伝えます。石高20万の朱印地で、幕府からの朱印状も残されています。

建造物は、本堂、庫裡、位牌堂、鐘楼があり本堂は棟札によれば、延宝5年(1677)、勢多郡八崎村(現北橋村)萩原長左衛門尉命長が建てたとあります。幕末、17世澧洲の代に建物の普請を行い屋根の改修をしています。元は葺葺きでしたが、現在は瓦葺きに改められています。

秋元氏位牌堂は文政11年(1829)、鐘楼は延享2年(1745)の建造です。

文書類は1359件、什物類は4件を数えます。(詳細は目録参照のこと)

寺歴を知る資料は、大正頃秋元家家譜を作るため秋元家家令が資料を持参していきました。その後関東大震災により失われたとのことで、時候のあいさつ、法要の連絡文が残されています。その中では天狗岩燈絵図、秋元氏墓地絵図、羽階権現関係文書、朱印状が目立ちます。

境内には、石造地藏菩薩坐像(応永の石仏応永28年造)天明の浅間焼供養塔、羽階権現と共に、市指定史跡秋元氏墓地があります。

調査は9月7日より10月1日まで13日間実施しました。その中心は文書調査で、泉史編さん室調査資料を参考にさせていただきました。



天狗岩燈絵図より天狗岩の付近

2. 民俗文化財総合調査

民俗調査は、今年度桂萱地区を対象地区として実施しました。

桂萱地区は、赤城南面の農村地帯ですが、市街地に接する西部から宅地化が急速に進んでいます。

全体に民俗調査が入っていない地区ということで、これまで知られていなかった内容について、貴重な話を聞かせてもらうことができました。

十三念仏、虚空蔵、大胡城のお姫様の伝説等があげられますが、具体的な内容は、63年度に刊行される前橋市民俗文化財調査報告書第1集を参照していただきたいと思います。

民家調査の中で、上泉郷越の調査を行い、内部に収納されていた回り舞台について確認された点が特筆されます。

調査は、8月6日～9日の夏季集中調査と、10月22～24日の補充調査のほか、調査員個々が、入る個別調査の形で実施しました。

文書番号	表題	年代	差出	宛先	数	備考
23	御光御書御年印				1	旧記寺古内
24	大隆院御遺物御制	文化9年			1	17代遺物
25	秋元白雲之修御不取				1	佐物御掛拜蓋上物納事取
26	秋元白雲守戒御遺書				1	掃札、蓋子
27	御朱印并御書状之写	徳宝8年1月			1	上州白并双林寺
28	上野國、福康院御朱印地 寺院御年札紙	享保17年3月			1	双林寺
29	御朱印書帳兼書	宝基13年10月			1	旅山代
30	御朱印御古記録	天明7年4月			1	元泉寺大造代
31	御朱印書上紙	天保3年1月			1	元泉寺
32	御朱印写	寛政3年方から天明 8年			1	
33	御朱印御書林御書	天保9年1月			1	元泉寺
34	御朱印写	寛政3年方から天保 10年			9	
35	同上	同上			1	
36	同上	寛政3年方から文政 2年9月			10	
37	御朱印御書二宮御書下紙	慶応4年7月			1	鹿林善慶寺
38	公儀御江別動方	安永4年1月			1	11世旅山代
39-1	秋元白雲一休御書勅方	安永7年1月			1	元泉寺大造代
39-2	江流遊行後秋元清守御 原勅方	安永7年8月			1	
40	芦崎御御目録御書御書 勅方	安永10年1月			1	
41	若殿三郎御初御書御書 勅方	寛政5年8月			1	大森代
42	公儀御年御初御書	寛政7年1月			1	同上
43	殿様御江別江官御書御書 并御書御書二代勅方	寛政11年1月			1	
44	木口御書店之御書御書 勅方	文政2年8月			1	
45	秋元白雲守戒久御書御書 勅方	天保6年7月			1	
46	御公儀御年御書御書	安政5年3月			1	所安政4年寛政12年
47	本山勅方定書				1	上野國西馬郡元泉
48	古紙写	延宝8年			1	四阿向書酒永江流
49	古紙之写	同上			1	
50	双林寺御書州松代殿御書 件	止徳14年9月			1	古紙写
51	宛	江約1年12月			1	雙隆寺との御書
52	寺社奉行江御書	延享3年			1	江戸赤蓮代
53	御書	享保1年10月				
54	勅字御書遺物江御書御書 三寺より御書江御書	文化8年				
55	御書御書御書御書御書					小書双林寺二有之
56	御書御書御書御書御書					17世遺物之書
57	御書御書御書御書御書	慶応3年3月			1	双林寺
58	御書御書御書御書御書	(享和3年)			1	
59	御書御書御書御書御書	宝基9年8月			1	御書御書御書御書御書
60	御書御書御書御書御書	寛政11年5月			1	
61	双林寺御書御書御書御書	寛政11年			1	27ヶ寺出入一件
62	心齋院御書御書御書御書	文政11年			1	18世公案
63	善光院、元泉院御書御書 土御書御書御書御書	文政11年8月			1	同上
64	和歌山御書御書御書御書	天保3年11月			1	寺御書御書御書御書
65	善光院、心齋院御書御書 御書御書御書御書御書	天保7年1月			1	元泉寺
66	御書御書御書御書御書	天保7年6月			1	右1徳二郎
67	御書御書御書御書御書	同上			1	入丁御書
68	御書御書御書御書御書	同上			1	
69	御書御書御書御書御書	天保17年8月			1	おのり御書御書御書御書
70	御書御書御書御書御書	安永5年			1	遺物
71	天正16年以来御書御書御書 御書御書御書御書御書	文政6年3月			1	御書御書御書御書御書
72	御書御書御書御書御書	同上			1	同上
73	御書御書御書御書御書	寛政2年8月			1	江戸御書御書御書御書
74	御書御書御書御書御書	同上			1	同上
75-83	御書御書御書御書御書	寛政5年6月			9	御書御書御書御書御書、 御書御書御書御書御書
84	御書御書御書御書御書	安政2年3月			1	名工治木太、御書御書御書御書御書
85	御書御書御書御書御書	慶応1年6月			1	
86	御書御書御書御書御書	慶応1年7月			1	御書御書御書御書御書

文書番号	表 題	年 代	兼 出	宛 先	数	備 考
87	天正15年創立以來境内 灯籠木植込致し只候名册 込付願申取事	慶應3年6月			1	17世遺書
88	双林寺鐘額	元禄1年5月	澤井		1	
89	御堂家納入用下書				1	
90	御堂家御前納入用紙				1	元禄寺
91	宗廟宮再建納化儀	同2月			1	元禄寺也徳入
92	同上	同上			1	同上
93	志願院保願所工部御門 取入由状紙				1	
94	春光院御前納入御印				1	
95	上州郡礼元景寺願所玉頂 仕書				1	節請方
96	志願院御前玉頂木植立帳				1	
97	双林寺より御納達	卯6月			1	大本山経橋寺御納達御納達 込成金之事
98	御堂家再建江棟入用紙				1	大丁手納儀
99	御寺請地方帳	寛永3年6月			1	西上州郡堤田郡礼元景寺
100	御寺御納儀	弘化2年8月		香光院	1	
101	元景寺願所御納儀田賦 込納高納儀納儀帳	寛永7年7月			1	元禄寺及上寺御納儀代
102	寺進納之帳	安永4年3月	三光親王右衛門		1	
103	献上物進上物覽帳				1	元景寺
104	御社二箇寺二付納儀納儀				1	元景寺
105	江沼二付志願書	安永2年10月			1	元景寺化土記
106	江沼二付志願書	同上			1	同上
107	光嚴院納儀帳	正徳5年9月			1	
108	光嚴院納儀納儀納儀帳	同上			1	武州山崎郡伊賀守藤原長房
109	上棟書	延宝5年			1	当時六世各親再建棟上之記
110	御公普新状之写	寛保3年6月			1	慶福寺・福院寺本末出入之記
111	菩提文之写写方	元禄8年3月			1	大丁寺也
112	当寺願山江四所御	寛永13年6月			1	当寺14代御納儀
113	願所御納儀納儀納儀納儀 憑書	安永6年6月			1	17代遺書納儀
114	西海上州郡納儀納儀	寛政6年1月			1	大衆
115	從仕古寺納儀納儀納儀納儀 御付年寄月日付書	延享4年3月			1	
116	殊上	明治2年11月			1	西上州郡堤田郡
117	秋元后馬守御納儀納儀納儀 御納儀	寛政11年			1	元景寺13世代
118	御納儀納儀納儀納儀	天保3年11月			1	上野郡子村以徳入
119	旭州大山寺門御納儀納儀 寛寶子村納儀納儀納儀納儀 二付御納儀納儀納儀納儀	元治2年2月			1	
120	御納儀納儀納儀納儀納儀	慶應3年3月			1	
121	雲水行納儀納儀納儀納儀 上政第一新二付御納儀納儀 御納儀納儀納儀納儀納儀 納儀納儀納儀納儀納儀 納儀納儀納儀納儀納儀	4月			1	富岡八郎左衛門
122	御納儀納儀納儀納儀納儀 納儀納儀納儀納儀納儀 納儀納儀納儀納儀納儀 納儀納儀納儀納儀納儀 納儀納儀納儀納儀納儀				1	
123	旭州願山納儀納儀納儀納儀 天下之大御納儀	寛永7年8月			1	藤原院外在納儀
124	覽	延享2年12月			1	各御納儀納儀納儀納儀納儀 納儀納儀納儀納儀納儀
125	双林寺乃又江深戸状	寛政2年11月			1	七ヶ寺御納儀
126	上納小糸天南寺・妙善寺 御納儀納儀	元禄7年11月			1	天南寺記
127	延保江納儀	慶應3年11月			1	元景寺遺書(全)
128	御納儀	同1月			1	高・資材納儀
129	双林寺御納儀	保甲6月			1	納儀納儀納儀納儀
130	江沼納儀納儀	寛延2年4月			1	秋元后馬守御納儀納儀
131	別館大納儀納儀納儀納儀 火災帳	慶應4年			1	越末火災納儀
132	秋元后馬守御納儀納儀納儀 未納儀納儀				1	山崎山崎宗寺(山城国嵯峨)
133	春光院納儀納儀納儀	12月			1	元景寺
134	御納儀納儀納儀納儀納儀	享和1年4月			1	氣山山
135	上野國納儀納儀納儀納儀納儀 納儀納儀納儀納儀納儀 納儀納儀納儀納儀納儀	文久1年4月			1	
136	納儀納儀納儀納儀納儀納儀 納儀納儀納儀納儀納儀	文久1年4月			1	
137	上野山納儀納儀納儀納儀納儀 納儀納儀納儀納儀納儀 納儀納儀納儀納儀納儀	文久2年10月			1	秋元寺
138	光嚴寺納儀納儀納儀				1	御堂宗儀納儀納儀納儀
139	人降納儀納儀納儀				1	惠心院
140	休坐納儀納儀納儀納儀	安永4年6月			1	氣山山大納儀
141	秋元氏御納儀納儀納儀納儀 納儀納儀納儀納儀納儀	安永9年8月			1	御納儀納儀納儀

文書番号	表 題	年 代	差 出	宛 先	数	備 考
142	秋元日新守承朝御入程入由條	文化7年7月			1	現任玄奘代
143	大隆院殿一箇与御立新書 忍及書控	文化8年7月			1	玄奘代
144	第十第十一第十二和內 年忌願了書	文化12年8月			1	
145	大隆院殿十三箇忌願書控	文政5年7月			1	元泉寺
146	大隆院殿十三箇忌願書控	文政5年7月			1	
147	大隆院殿十七年忌願書控	文政9年7月			1	元泉寺
148	光嚴院、心齋院御書所法 事文控	文政12年			1	玄奘
149	大隆院殿一十五箇年忌願書控	天保5年6月			1	元泉寺
150	春光院殿一百五箇忌願書控	天保7年11月			1	玄奘代
151	春光院殿年忌願書控	天保7年11月			1	元泉寺
152	春光院二百五十年御二付 彩色入由條	同上			1	
153	稻保入元法事書	天保10年7月			1	第15代
154	稻保御二一箇御書法事書	天保12年10月			1	元泉寺御書16代(表紙欠)
155	稻保院殿二百年忌願書控	同上			1	筆之方入光
156	大隆院殿二十二箇忌願書 事書多封	天保15年7月			1	筆之方入光
157	誠心院殿御書御書御書	天保14年2月			1	志山16代御書
158	誠心院殿御書御書御書	同上			1	
159	休養御書之控	文化4年10月			1	
160	穿御殿七箇御書御書	享和3年10月			1	元泉寺遺化二付 御書御書
161	大隆院殿御書御書	8月			1	元泉寺御書
162	化院御書之控	未6月			1	元泉寺御書
163	双林寺江藤御書				1	雙刀藏
164	雙林寺御書御書御書				1	法華寺入用掛
165	御代御書	享和5年1月			1	御書御書
166	同上	正徳3年1月			1	元泉寺
167	赤門御書御書御書	文政2年6月			1	
168	赤門御書御書御書	享7月			1	No107に同じ
169	赤門御書御書御書	文政3年8月			1	元泉寺
170	新古御書御書御書御書	文政11年			1	御書御書御書
171	御書御書御書御書御書	文政11年7月			1	人丁生助
172	御書御書御書御書御書	弘化2年9月			1	唐書寺名生助
173	御書御書御書御書	享和2年6月			1	御書御書
174	元泉寺御書御書御書御書	文久14年6月			1	御書御書
175	赤門御書御書御書御書				1	高井村
176	元泉山御書御書御書御書	享和7年11月			1	
177	元泉山御書御書御書御書	享和7年			1	元泉山御書御書御書御書
178	元泉山御書御書御書御書	享和5年			1	御書御書御書御書
179	大隆院御書御書御書御書	文化9年3月			1	元泉寺玄奘代
180	元泉山御書御書御書御書	享和5年5月			1	
181	双林寺一件	享和5年7月			1	双林寺御書御書御書御書
182	双林寺配下出入二付二付 寺御書御書	享和5年			1	元泉寺御書
183	宝書御書御書御書御書御書	(享和2)8月			1	心齋院御書御書
184	宝書御書御書御書御書御書	享和3年7月			1	元泉寺玄奘代
185	御書御書御書御書御書御書	文化9年7月			1	元泉寺御書御書御書御書
186	御書御書御書御書御書御書	文化4年12月			1	玄奘代
187	大隆院御書御書御書御書	文政7年2月			1	
188	秋元日新守承朝御入程入由條	8月			1	現任玄奘代
189	秋元日新守承朝御入程入由條	天保2年6月			1	元泉寺玄奘代
190	春光院殿一百五十年忌願 御書御書御書御書御書	天保7年11月			1	御書御書御書御書御書
191	御書御書御書御書御書御書	弘化5年3月			1	御書御書御書御書御書御書
192	御書御書御書御書御書御書	享和1年7月			1	御書御書御書御書御書御書
193	元泉山御書御書御書御書	明治4年9月			1	
194	元泉寺朱印状	享和13年11月19日			1	大隆院御書御書御書御書
195	同上	享和3年3月26日			1	御書御書御書御書御書御書
196	同上	享和5年5月			1	御書御書御書御書御書御書
197	同上	享和2年6月			1	御書御書御書御書御書御書
198	同上	享和3年7月			1	御書御書御書御書御書御書
199	同上	享和4年6月			1	御書御書御書御書御書御書
200	同上	享和12年6月			1	御書御書御書御書御書御書
201	同上	天保5年9月			1	御書御書御書御書御書御書

文書番号	表紙	年代	巻出	宛先	数	備考
202	元興寺床印状	天保10年9月			1	慎徳院家蔵朱印
203	同上	安政2年9月			1	益高院家蔵朱印
204	同上	万延1年9月			1	慎徳院家蔵朱印
206-221	元興寺床印状書				17	
222	京平寺住持職事	寶保4年2月18日			1	福玄和尚
223	龍持寺住持職事	文政2年8月29日			1	止雲寺玄義和尚
224	同上	寛政10年3月30日			1	祐富寺玄義和尚
225	同上	文政2年6月1日			1	正業寺玄義和尚
226	同上	文政4年4月11日	龍持寺五院	大願寺	1	(宗1和向)
227	同上	寛政10年2月14日	同上		1	玄英和尚
228	同上	明治10年3月24日			1	元興寺中堂札地
229	同上	元禄16年3月18日			1	龍富寺牧牛札地
230	同上	元禄2年5月7日			1	玄徳院運書札地
231	元興寺觀音和尚京平寺住持職之事	宝永4年3月4日	京平寺		1	
232	元興寺備前和尚龍持寺住持職之事	正保4年8月14日			1	
233	元興寺備前和尚龍持寺住持職之事	寶永3年3月6日	龍持寺		1	
234	地方奉納延文之事	大保6年2月	龍持新田九兵衛		1	上野七郎
235	赤青附帳之事	延享2年12月18日	熊守守	元興寺	1	六段男紙八歩之紙
236	床印状写	寶永13年11月30日			1	家光朱印
237-1	宗阿延文之事	嘉永6年3月	元興寺赤雲	中山又七	1	象五山
237-2	同上	文化11年12月	元興寺玄英	石田玄里	1	同上
238	目録				1	
239	同上				1	
240	覽	文久2年12月			1	寺院修理についで書
241	定	元禄16年8月			1	吉野寺院調律
242	天下管河原江殿	慶長17年5月			1	梅澤屋徳栄(印)
243	定	寶永16年3月8日	龍徳寺書道	双林寺	1	曹溪法眼守るべし
244	定	延享1年10月	本多所生工門 天野九左工門	寺院修繕社家申	1	宗門法度様目
245	寄附状	宝永4年6月15日	94工門、5平段	龍興寺留札地	1	上野六段二四門掛
246	書簡	戊3月			1	
247	同上	元禄11年3月			1	東田地付木出入
248	同上	同上			1	同上
249	書簡	安政5年7月			1	折紙に杉苗木500本寄附
250	口上書	8月			1	
251	同上	8月	元興寺大業	國家老家中	1	元興寺上150年忌法要依頼
252	同上	延享3年10月	双林寺赤雲	寺社御奉行所	1	願五件
253	願書	天保10年1月	火樂院	双林寺御康見各 大力丈	1	題目依頼
254	入用渡付	宇喜12年閏4月	福光		1	別紙天知に梅屋書を赤文書渡
255	御祈札之事	安政4年4月	赤石新内		1	詫状
256	差上申書様延文之事	明治4年12月5日	梅次郎		1	
257	記	明治4年10月10日	中山歌廣		1	金二両を送る
258	元興寺寺領之書付之事	元和10年1月29日	元興寺書寫	高橋五兵衛	1	書領也横書
259	春光院縁白土 四御忌御寄附之忌書	天文2年11月12日			1	法書等4帖
260	奉願口上書	文久2年11月	元興寺	飯林御講儀方御役所	1	寺院修繕願書
261	覽	辰9月28日	押山源五右工門		1	春元院御祈想田天来御建立之部入用控
262	同上	嘉永1年平10月	大工高就、他	御作事御役人中	1	寺院内部修理入用
263	書状控	元禄9年10月15日	元興寺阿玄	國家御中	1	御製詞并拝任書
264	覽				1	龍興寺の寺由帳之条件
265	書状下書	宝永2年9月18日	元興寺		1	元興院宝書を立てる事
266	書状	寛政10年12月16日	同上	双林寺	1	紙目依頼
267	元興寺先願口上書之事				1	
268	書状下書	延享3年5月	双林寺赤雲	寺社御奉行所	1	44ヶ箇女紙下下願
269	同上	寶永7年7月	元興寺書寫		1	敬願書
270	書簡	文政11年3月	元興寺	大起の左工門 組4名	1	御齋堂再建願
271	書簡下書				1	No268の下書
272	書	寶永1年10月	元興寺	双林寺	1	芥川院僧寺交結
273	同上	元禄16年5月25日	立石村平佐工門	元興寺	1	詫状
274	御願書控寄書	延喜9年閏7月	元興寺御書	寺社御役所	1	大野宮願書
275	書簡	天保10年1月	龍興院書寫、他	双林寺御役所	1	元興寺題目依頼
276	同上	申12月9日	元興寺	寺社御奉行所	1	敬願書
277	同上		願書書寫	工部御奉行所	1	古紙51帖依頼
278	同上	嘉永3年2月	元興寺	寺社御奉行所	1	掛い書紙の送りとする願
279	同上	延享3年10月	双林寺	寺社御奉行所	1	四ヶ箇紙支配願
280	同上	寛政3年1月	元興寺御玄	國家御中	1	法事に代差書依頼
281	同上				1	No279に同じ
282	同上	宝永7年9月7日	元興寺	白無江左工門 他4名	1	寺社出入での幾分願
283	同上	(安政4)34月	龍興寺	双林寺	1	元興寺住持に津洲を寄附
284	状	元禄16年8月7日	龍持寺、京平寺		1	末寺への横書

文書番号	表 題	年 代	著 出	宛 先	数	備 考
285	状	文久3年5月	兩十部、他	元興寺	1	4張大徳院に付託し一冊の註明書
286	同上	正徳1年5月	大石1門、他	元興寺	1	寺地出入の証文
287	書 簡	安永1年12月	元興寺住門	寺社御使者	1	奉書焼死後の後任御師之事
288	証 文	文政2年10月	双林寺	元興寺	1	修羅講師公書
289	同上	文化5年1月	雄鷹講兵庫	同 上	1	阿闍梨書問の件
290	回 線				1	秋元家法要司料巻題目録
291	券文之事	安永9年9月28日	元興寺大道	三寶源五石工門	1	寄付に付贈父法名表紙
292	同上	安永5年5月4日	同 上	作備供兵庫	1	永代供養料巻目録
293	同上	安永9年9月26日	同 上	立見築石工門	1	寺内に付永々院長大納言御書
294	同上	天明7年12月	同 上	木曾講兵庫	1	法号と永代供養料
295	同上				1	No291と同じ
296	同上	安永3年12月	同 上	中徳勘紙	1	永代供養料として金四両
297	同上				1	No296と同じ
298	同上	明治3年11月	元興寺津洲	典之南門	1	新嘗寺入尊へ上り白紙26枚巻
299	同上				1	元興寺由緒(表欠)
300	水代、先申手形之事	元禄11年2月21日	築石工門		1	中納6枚の無引証文
301	横濱市稲浦文之事下書		元興寺	代 助	1	
302	同上 本巻				1	
303	新出御打具奉より先申手形				1	表欠
304	横濱市稲浦文之事	立派9年11月	九尺御	元興寺	1	
305	冠巻一札之事	慶応3年1月	竹五郎	横野村名主	1	宗門人別帳より除く依頼
306	献立表	8月			1	横濱市出之巻の献立表
307	目録など				11	目録、書頭下巻など
308	借用時下巻				1	
309	秋元公より御師に付差之 通船留付尺牒いたし差 出御書并に前納納和記し 差上候	享和元年4月			1	位牌、石碑の記録控
310	同尚文				1	
311	兼江守及利薄序		双林寺、天定宗		1	
312	石佛給受帳	享	元興寺	太徳寺典賢	1	
313	祭 文	宝暦12年4月10日			1	弘徳大徳院東社留神への祭文
314	書 簡	6月10日	秋元南門庄久留	元興寺	1	曇中見舞札状
315	同上	明治2年8月26日	隆興寺	元興寺	1	葬式依頼
316	受取巻与封	寛政3年申秋彼岸			3	
317	人別帳御指	明治3年9月	安齊寺	元興寺	1	摩訶般若三昧部あととり簿付
318	木山編留	2月	駒持寺	元興寺	1	及任状
319	浅間山被害報告	(天明3)8月	三寶源左衛門	光興寺、元興寺	1	
320	朱印状等				1	No196の写し
321	納受而下巻				1	
322	寺光親殿15年供養立付		元興寺		1	
323	双林寺東寺一覽	文政9年1月 大保2年8月~ 宝暦12年4月			1	新巻記之
324	寺鑑状	宝暦6年4月~ 慶応4年2月		寺社没跡寺蹟寺 御留察	1	
325	役所への借控帳				1	
326	別冊慶長御書御成入名簿 ※徳大権親殿化驗山子御 遺名帳	慶応4年2月			1	元興寺住職人
327	首座御書上候下書			双林寺	1	
328	(繪敷面集)				1	口讀し、紙や書を書いている
329	活葉御書伝				1	
330	心齋院御留山門料控	明治			1	金2両
331	先相法不立録				1	院号5名、重子2名
332	同上				1	院号13名
333	同上				1	秋元但馬守への直物
334	御書物覚	7月28日	大納所		1	
335	穴付状包紙				1	
336	心齋院御留花札包	秋 元			1	西 門
337	同上				1	同 上
338	同上				1	同 上
339	星上組留包紙				1	
340	寺田御小作書上書	9月28日	大徳兵庫 村松及助 奥田甚石工門		1	
341	書簡包書			元興寺	1	
342	秋元入正様代々の御留				1	
343	新井村佐住出御留和紙巻				1	
344	万松寺産口御書下書				1	14人鑑目、神御祭にしたい願
345	書				1	
346	遺願御り書状			元興寺	1	
347	納受書たつ	明治19年7月			1	
348	献行奉納控				1	
349	摩訶寺鑑目包紙				1	
350	包 紙				1	寺留証
351	秋元中先相由來包紙				1	関口、朝原、他
352	上下両書入包紙	享和6年より			1	
353	永代供養料巻御指	明治			1	
354	はがき	明治41年12月26日	中山山法林法庫事 務所	大徳常願	1	

文書番号	表 題	年 代	差 出	宛 先	数	備 考
366	はがき	明治41年12月26日	早川山法法律事務所	大塚原雄	1	
367	17世和尙内務省礼状				1	明治6年10月12日死去
368	高山越前登録	明治29年7月6日			1	
369	御免状	明治6年10月			1	
360	当山17世和尙精光寺方茶 記書状六山院實録未段	明治9年3月30日 同31日			1	
361	徳風堂供物到来書状	明治7年11月28日		無量寺(山崎入)	1	
362	高山系實録書状	明治10年4月25日			1	
363	青葉子実露寺新刊日中盆 供米並名次記	明治6年6月15日			1	元景寺17世遺洲代
364	御子八重下の外計帳頭紙	明治6年11月30日			1	
365	大塚原雄供物帳	明治7年10月28日			1	
366	高山17世和尙二回忌に付 御書到来記	明治10年11月17日			1	
367	干柿之書	明治30年10月			1	
368	17世和尙1回忌追善帳	明治6年11月12日			1	18世山洲
369	17世和尙某様式忌追善帳 遺帳	明治9年3月31日			1	
370	山林山下方解文	明治11年3月2日			1	
371	遠有地御地下領	明治24年11月19日		大林区農長	1	
372	包 紙	慶応4年7月25日			1	天社神道旗通并内門入書状
373	遺書下書				1	
374	古文書紙				1	
375	包 紙				1	吉野了齋寺地方証文八通
376	書 状				1	掛 札
377	包 紙				1	
378	函 上				1	秋元了齋所光齋寺へ引移し願書
379	函 上				1	御来山九紙
380	函 上				1	
381	函 上				1	遊覧山田筆書
382	函 上				1	公 文
383	函 上				1	
384	函 上	明治			1	普光院光範交遊所五通地獄面 議にお掛入の議のことなどの記 載
385	普光院龍心院龍化院院 殿御去人用上書				1	
386	包 紙				1	祭 文
387	書状(普書知書)	明治42年1月23日	大木区農	元景寺	1	山林院龍化院の結果の登記につ いて
388	新築物取組	明治11年3月3日			1	御 筆
389	大谷宗作書儀解文	明治28年11月2日			1	
390	回 録				1	一院分、立木の数
391	電 報	明治40年12月8日	住 録	早川浩伸事務所	1	
392	龍社御役御通知	明治40年10月2日			1	が有地売買交換について
393	はがき	明治39年7月3日	田田寅助	大塚原雄	1	并無十學院所の書状
394	封 筒	明治40年10月13日	守松山林法律事 務所	元景寺	1	
395	函 上			龍社御役書	1	N3392の封筒方
396	函 上	明治42年1月26日	東京大林区長	大塚原雄	1	
397	はがき	明治41年2月28日	高崎小林区長	大塚原雄、守松	1	
398	書 状	11月			1	受取証
399	別冊天中宮建立御遺状 宗和承能大師八百五十回 忌御化儀	明治12年5月5日		元景寺	1	
400~406	宗和承能大師八百五十回 忌御化儀				1	川原、藤井、橋本、元龍社、龍 社、齋藤、他
407	普光院龍化院龍前焼之儀 二付御	明治18年1月1日			1	普光院御書(普光院龍化院に ついての定)
408	元景寺遺洲代工關原遺書	明治6年10月			1	遺洲10月12日書
409	普光院龍化院龍前焼之儀 寺宛御書之入届	明治11年4月1日			1	
410	普光院龍化院龍前焼之儀 寺宛御書之入届	明治11年4月2日			1	
411	宗和承能大師八百五十回 忌御化儀	明治6年4月5日			1	
412	宗和承能大師八百五十回 忌御化儀				1	立木数分
413	書 状	明治37年6月27日	大塚原雄	平松福三郎	1	
414	新築地御地下領下書	明治24年11月19日			1	
415	立木数下領	明治24年			1	立木本数と大木
416	遺書下書	明治41年6月12日			1	山林所有権登記簿付
417	普光院御地下領	明治24年11月19日			1	龍社御書御地下
418	宗和承能	明治11年2月6日			1	普光院、光範院、志願院の書状等につ いて、龍社三寺御書之御遺書
419	山林立木伐採御遺書一括	明治41年3月28日		普光院山熊寺	1	御書之御遺
420	函 上				1	
421	山林院宗廟書に関する件	明治40年10月3日	平松山林法律事 務所	元景寺	1	
422	立木伐採御遺書	明治41年			1	
423	立木伐採御遺書	明治40年			1	
424	御遺書之入届に付遺書	明治41年3月28日			1	遺書
425	山林院龍化院二付遺書御遺 書	明治41年3月28日			1	
426	伴崎龍化院書	明治24年11月6日			1	遺書後年(二)高山院遺書を指せん 11月10日御書がきされている

文書番号	表 題	年 代	差 出	宛 先	数	備 考
427	大木山宗聖寺福船六百六十回忌勸化帳	明治			1	源興寺まで集めた分のみの勸化帳
428	寺種財盛明細帳	明治15年			1	
429	種徳再録、梵鐘訪査し難高費	明治27年7月			1	元禄4年のものが、安永6年明治17年でこわれたため
430	施州隆徳山聖徳庵寺記	近世末			1	
431	七地山有林下戻請承取狀一件書簡一通	明治37年より			1	明治9年に国育林に入れられた土地の取戻
432	内山庄布依廣基町書引込込帳改書	明治40年10月			1	
433	書 簡		秋元玄蕃宗朝	元景寺	1	
434	同上	8月23日	秋元起馬守	同上	1	札 状
435	同上	4月1日	菊川玄工阿波力	同上	1	天水善書付の件
436	同上	6月5日			1	押田六兵衛の礼書
437	同上	4月15日	千本純経、他	同上	1	長寿院位牌の件
438	江戸の手控				1	寺務雑帳の類い
439	書 簡	12月6日	秋元起馬守久朝	元景寺	1	善光院260回忌法事相書
440	同上	5月3日			1	尾布代金目録
441	覚 書	1月28日			1	
442	書 簡	7月25日	千本純経、他	元景寺	1	
443	包 紙				1	
444	書 簡	2月28日			1	朱印状についての宛
445	同上	1月1日	安藤主七、ほろ	元景寺	1	年 賀
446	同上	1月11日	近野入助、ほろ	同上	1	御白尊について
447	同上	8月24日	元景寺	押田六兵衛、他	1	善光院講のごとなど
448	同上	弘化2年1月	杉山玄工、他	元景寺	1	年賀、納
449	同上	1月26日	斎田源蔵、他	同上	1	年賀、他
450	同上	11月14日	國友米助、他	同上	1	善光院260回忌法事名代の件
451	同上	6月20日	米田八十郎、他	同上	1	善光院の返書
452	同上	12月23日	飯田誠之助、他	同上	1	善光院の返書
453	同上	4月7日	秋元忠志守茂郎	元景寺	1	
454	同上	6月21日	伊中新一、他	同上	1	
455	同上	7月26日	押田六兵衛、他	同上	1	年 賀
456	同上				1	矢貝吉太夫
457	同上	3月27日	安藤玄工、他	元景寺	1	善光院150年忌法事
458	同上	11月16日	窪崎九右衛門	同上	1	善光院200回忌の返書
459	同上	1月11日	元景寺港南	大蔵元四郎	1	先朝年忌について飯倉の返書
460	同上	6月9日	元景寺		1	講帳紙700回忌の返
461	御施下書					
462	書 簡	天保8年11月	双林寺善徳	関一徳寺	1	御 書
463	同上	4月	小坂七郎、他		1	長壽院位牌と西向料
464	同上	4月15日	小坂七郎、他	元景寺	1	長壽院が遺品として贈る件
465	同上	4月3日	關新市乙龜門	同上	1	東西より御納祝の件
466	同上	4月15日	小坂七郎、他	元景寺	1	長壽院への御納宗依納
467	同上		光嚴寺	村松茂助	1	宝徳台取替の件
468	包 紙				1	金次百足
469	書 簡	2月28日	秋元華入正保朝		1	
470	同上	1月25日	秋元馬守宗朝		1	年賀状
471	同上	07月16日	秋元忠七萬求		1	善中見舞
472	同上	8月10日	伊藤源六郎、他		1	元景院様五輪位牌修繕金のこと
473	本山弘教社蔵の勸状				1	正与生助出動のごとなど
474	書 簡		加藤武兵衛、他		1	年賀状
475	同上	4月13日	小坂、岩田	元景寺	1	札 状
476	同上	1月27日	秋元越中守義宗		1	年賀状
477	同上	11月28日	秋元越中守		1	同上
478	同上	11月28日		元景寺	1	書簡のごと
479	同上	10月28日	秋元越中守義宗		1	札 状
480	同上	2月2日		大沼玄心工門	1	住職交替の件各年分の納し入
481	同上	2月7日		元景寺	1	心齋院蔵200回忌法書の件
482	同上		松江伝左衛門		1	院帳の取戻す、他
483	同上	文久1年7月9日	秋元石辻辰助		1	善光院への御納宗依納
484	同上	6月13日	大澤寺住持徳明		1	善光院200回忌の件
485	同上	2月	元景寺	元景寺	1	善光院200回忌の件
486	同上	6月7日	元景寺	飯沼助兵衛、他	1	善光院200回忌の件
487	同上	2月22日	廣徳寺、ほろ	双林寺	1	御朱印、僧録御尋の儀
488	同上		元景寺	山形南林寺内 岡谷兵生工門	1	御朱印御尋御尋の儀
489	同上	6月12日	藤田藤蔵、ほろ		1	寺録紙15回忌
490	目 録	12月			1	打敷など
491	書 簡		大澤内助、ほろ		1	法監印書修繕料支払いの件
492	近代版年譜				1	等し
493	書 簡	6月25日		元景寺	1	法書について
494	包 紙		山山兵衛	元景寺	1	白米一俵
495	書 簡	1月2日、8月10日			2	法事料のごと、玉置藏人入札
496	同上				1	山 崎200回忌の件
497	同上	6月10日	關新市乙龜門		1	化城院200回忌の件
498	同上		千本純経、他	元景寺	1	化城院24回忌の件
499	包 紙				1	白紙巻帳

文書番号	表	題	年代	差出	宛先	数	備考
500	書	通		根本宮内卿、他	元慶寺	1	江戸院200回忌高和
501	同上		8月11日	小保七郎、他	同上	1	笹原守国方退去の事
502	同上		1月11日	三浦重盛、他	同上	1	年始返書
503	同上			飯沼真守	同上	1	
504	同上		10月10日	吉田升郎、他	同上	1	返書
505	同上		3月20日	成林寺	同上	1	胎介状
506	同上		6月25日	太歳寺興徳、他	同上	1	年中見舞返書
507	同上		安政5年2月	山田善太夫、他	同上	1	寄進の納り状
508	同上		1月2日	若川藤大助、他	同上	1	
509	同上		1月9日	安中右近、他	同上	1	殿様との会見納り状
510	同上		1月26日	秋光石匠	同上	1	年賀状
511	同上		10月16日	塚越甚八郎	同上	1	扶持延引のこと
512	同上		6月7日	堀井内証介、他	同上	1	清康殿200回忌
513	同上		11月2日	同上	同上	1	年始代参の事
514	同上		5月17日	高山主税之助	同上	1	春光院21回忌の檀施のこと
515	同上		9月7日	中野順平、他	同上	1	
516	書	通		御用人	同上	1	表門再建
517	書	通	4月15日	大塚小半人	元慶寺	1	巻型札状
518	同上		4月7日	加太二平、他	同上	1	
519	同上		2月2日	同上	同上	2	由緒について
520	同上		延享4年2月29日	双林寺	同上	1	年始出踏のこと
521	同上			秋光石馬守	同上	1	白銀1枚
522	書	通			同上	1	
523	書	通	1月10日	安中左近	元慶寺	1	会見返書
524	同上		1月16日	土庫前清次工門	同上	1	春光院200回忌追礼状
525	書	通	12月16日	飯沼真守	同上	1	
526	書	通	2月15日	長谷川又十郎	同上	1	
527	書	通	1月28日	秋光石馬守	同上	1	年賀状
528	書	通	6月2日	間合太次	同上	1	大塚院33回忌依頼
529	同上		5月8日	間成九右衛門	同上	1	宝篋(口者修置の件)
530	同上		又久3年1月28日	御内証通介	同上	1	年始祈禱のお礼
531	同上			御川与一左工門	同上	1	名代
532	書	通		秋光石馬守	同上	1	御返書
533	書	通	明治3年1月	長谷川本次郎	同上	1	御年賀状
534	書	通			同上	1	入口跡様33回忌
535	書	通	延享3年12月24日	双林寺	元慶寺	1	久利頼地(下寺安通の件)
536	同上		6月29日	西内藤善介、他	同上	1	年中見舞札状
537	同上		4月28日	ます	同上	1	丹原屋栄次郎筆
538	同上		7月1日	御内証通介	同上	1	年中見舞并位牌
539	同上		3月22日	山内節左衛門	同上	1	
540	同上		9月24日	松江名左工門、他	同上	1	大塚院にまつわる献上書
541	同上		1月2日	田村甚八郎	同上	1	元慶院誕生御禮の事
542	書	通			同上	1	
543	書	通	7月7日	御中証助、他	元慶寺	1	心齋院玉部徳儀
544	同上		11月12日	小保七之助、他	同上	1	春光院200回忌
545	同上			御禮七、他	元慶寺	1	心齋院瑞雲法要札状
546	同上		11	林庄左衛門	同上	1	眞状
547	同上		8月16日	坂本四郎左工門	同上	1	光康院、志願院生退について
548	同上		12月18日	同上	同上	1	寄進状
549	同上		12月15日	關口節左工門	同上	1	関門氏先祖御母
550	書	通	11月26日	松尾忠助、他	同上	1	淨光院御母料
551	書	通			同上	1	大塚院13回忌次席
552	書	通	8月14日	元慶寺玄徳	鎌田藤太夫、他	1	尚附札状
553	同上		安政4年1月	間合玄八郎	元慶寺	1	室宮兼より年始代参
554	同上		12月28日	同上	同上	1	
555	同上		1月1日	飯沼存之郎	同上	1	御代参につき室宮中納りの返礼状
556	同上		8月17日	約謙	同上	1	互忌通知
557	同上		12月26日	堀井内証介	同上	1	年中見舞
558	同上		止保3年8月12日	間合左衛門、他	同上	1	玉部節殊大持玉飾位(置置)について
559	同上			杉江玄貞庵	元慶寺	1	伝書依頼
560	書	通			同上	1	宝篋返換見積書
561	書	通	11月3日	新山正徳、他	元慶寺	1	年始代参のこと
562	書	通		尾崎宗家親筆	同上	1	御用金止巻取状
563	書	通		塚越甚八郎、他	元慶寺	1	年賀状
564	同上		7月23日	間合市右衛門	同上	1	清閑院(見舞)
565	同上		11月8日	大木八郎、他	同上	1	寛弘金銀帳
566	同上			新保守	同上	1	扇子(封子)名札状
567	同上		7月11日	塚越甚八郎	同上	1	位牌(宗徳)寛弘の件
568	書	通	閏4月6日	元慶寺	鎌田藤太夫	1	表門再建
569	書	通	12月8日	笑岡一孝、他	元慶寺	1	御禮納り状
570	書	通			同上	1	御所託書付
571	書	通		笑岡清太夫	同上	1	銀子包
572	書	通	1月2日	川上文敬	元慶寺	1	互忌名代宛紙のこと
573	同上		8月1日	關口庄太夫、他	同上	1	心齋院、心齋院石佛修置のこと
574	同上		8月1日	太歳寺興徳	同上	1	寺縁起のため見分(年始代参)のこと
575	同上		同上	同上	同上	1	両院依頼
576	同上		7月11日	大塚藤五右衛門	同上	1	慶徳の祝の札状

文書番号	表	類	年代	差出	宛先	数	備	書
677	書	題	6月11日	鹿山玄左工門	元慶寺	1		札状
678	同上		12月12日	山井半右丁内	同上	1		赤光院宛位牌
679	同上		11月18日	鹿野九右衛門	同上	1		朱印御願のこと
680	同上		1月18日	高山善三内 他	同上	1		舞状否札
681	同上		9月11日	後藤藤成、他	同上	1		屋敷御願のこと
682	同上		10月28日	岩田彦助、他	同上	1		春光院180回忌法要依頼
683	同上		12月30日	小保淳左工門	同上	1		舞子願相済
684	同上		12月26日	九藤勘次郎、他	同上	1		幕中見舞札
685	同上		1月15日	和川玄工内、他	同上	1		年賀状
686	書	題	11月2日	高森政三内 他	同上	1		進物状
687	書	題	2月3日	秋元光政守	同上	1		年賀状書札
688	同上		12月29日	石野五左内 他	同上	1		石馬守舞子縁組相済のこと
689	書	題	6月9日	石川丹助、他	同上	1		同向14巻巻
690	書	題	7月2日	福井内左介、他	同上	1		幕中見舞札
691	同上		4月21日	大木八郎	同上	1		御願書
692	同上		3月27日	近藤光石工門	同上	1		御気遣状
693	同上		1月6日	藤沢法西工門	同上	1		位階書格書打金都合にて御する
694	同上		8月11日	珠辻玄二内	同上	1		幕中見舞札状
695	同上		7月11日	小保七郎	同上	1		光徳院250回忌法要(松壽寺)
696	同上		8月2日	高田平五内 他	同上	1		初八日に星布一箱送る
697	同上		8月11日	秋元光政守	同上	1		舞子相済
698	同上		3月7日	杉江駿石内門、他	同上	4		心齋院700回忌依頼と式次第書3巻
699	同上		6月27日	大内 村金、他	同上	2		出願依頼
700	同上		1月2日	山藤宗徳平三内	同上	1		年賀引舞所宛依頼
701	同上		10月26日	安藤孝三内 他	同上	1		同向依頼
702	同上		7月2日	藤原権輔、他	同上	1		位階書格書並御願のこと
703	同上		4月27日	秋元地守	同上	1		札状(是布1箱)
704	同上		1月	高川玄工内、他	同上	1		年賀状
705	同上		7月6日	端田豊助、他	同上	1		幕中見舞札
706	書	題		大津又五内	玄英	1		金式目定
707	書	題	6月27日	元慶寺母徳	野村半左工門	1		
708	書	題	3月9日	八幡寺山崎	元慶寺	1		送り状
709	同上		2月27日	前元慶寺福和堂	双林寺大徳和堂	1		
710	同上		9月16日	杉江安兵衛、他	元慶寺	1		
711	同上		2月2日	同上	同上	1		春光院重宝御座御座告願書
712	同上		1月26日	元慶寺	秋吉左工門	1		先和位牌について返書
713	同上		3月27日	小保七郎	元慶寺	1		小女家先相済
714	同上		4月28日	杉本真右工内	同上	1		心齋院新玉造り入について
715	同上		12月7日	高谷平助、他	同上	1		御目覚相済状書
716	同上			市川幸内、他	同上	1		舞上舞舞札
717	同上		1月26日	寺川十左内、他	同上	1		年賀状札
718	同上		8月11日	藤原友之進、他	同上	1		格書御願の件
719	同上		9月12日	大木八郎、他	同上	1		子祝御掛の件
720	書	題	6月	大沼為斎助、他	同上	1		表丹再御依頼
721	書	題	3月28日	鹿野九右丁内	同上	1		春徳院様200回忌法要札状
722	同上		12月5日	太田兵左工門	同上	1		春光院法事札状
723	同上					1		心齋院工書格書のこと
724	書	題	2月27日	坂本真兵衛、他	元慶寺	1		寄進内御書
725	書	題	11月9日	小保七郎、他	同上	2		舞子願相済内祝いの伝送り状
726	同上		6月10日	秋友馬佐	同上	1		幕中見舞札
727	同上		12月26日	小保七郎、他	同上	1		火事見舞札
728	同上		7月2日	福井新兵衛、他	同上	1		鹿乃八景中兵衛の札状
729	同上		7月27日			1		岩田彦助が再入となる再知文
730	同上			市川真内、他	元慶寺	1		舞中舞舞札
731	同上		文久2年1月2日	岡田藤吉	同上	1		山川左右前住御書(の)の件
732	同上		12月26日	大類庵吉	同上	1		密太直上のこと
733	同上			松山友五、他	同上	1		御山祝進物書
734	同上		1月9日	古山八右工門	元慶寺	1		春光院200回忌御願代書状
735	同上		7月4日	榊原権吉内、他	同上	1		大陣様33回忌依頼
736	同上			田中三兵衛	同上	1		供料送り状
737	同上		8月15日	丁出礼蔵、他	同上	1		祝進工書格書
738	同上		慶応3年4月23日			1		御書並御願書2巻他「軍書2巻
739	同上		8月11日	秋元地守	元慶寺	1		秋元地守去来のしらせ状
740	同上		1月2日	大沼為斎工門	同上	1		札状
741	同上			元光光工	同上	3		同上
742	同上		8月10日	安部内蔵、他	同上	1		心齋院御供進物追加のこと
743	同上		6月26日	秋吉津守	同上	1		寺社奉行御願のこと
744	書	題	10月13日	元慶寺	福井内左介、他	1		守徳院13回忌の知らせ
745	書	題		元慶寺	岡田平五内、他	1		守徳院7回忌供養料控及び札状
746	同上		10月10日	元慶寺	元慶寺	1		守徳院7回忌御供養
747	同上		慶永6年10月19日	元慶寺別寺	横山十太夫	1		守徳院7回忌御願代書状
748	同上		慶永6年7月15日	高谷玄八郎、他	元慶寺	1		守徳院7回忌御供養
749	同上		(同上)6日	高田源藏、他	同上	1		同上
750	書	題	10月19日	元慶寺	福井内左介、他	1		守徳院13回忌法要相済御
751	書	題				1		宗書料控
752	書	題	7月27日	小保七郎、他	元慶寺	1		信馬守御願書
753	書	題	2月26日	元慶寺	大納言丹	1		御願書

文書番号	表題	年代	筆出	宛先	数	備考
654	巻	17月2日	藤原氏之筆	元慶寺	1	年賀状
655	同上	10月1日	小保七郎、他	同上	1	心齋院法書改め
656	同上	4月	小保七郎、他	同上	1	心齋院200回忌法書料
657	巻下書	3月29日	光豊寺		1	龍山寺心齋院へ礼儀のこと
658	巻下	2月14日	高松武右衛門	元慶寺	1	宇庭御成儀
659	同上	6月	西田源次、他	同上	1	(龍山)見舞礼状
660	同上	8月6日	太満寺御建	同上	1	礼状
661	同上	2月15日	川崎新五兵衛	有部御表	1	表儀(奉知した)
662	同上	7月18日	龍岡寺右衛門	元慶寺	1	表紙御成儀のこと
663	同上			同上	4	依頼と白紙3通、控1通
664	同上	1月15日	板元清武	同上	1	年賀状返書
665	巻				1	上原數年寄役16名
666	巻	10月10日	松尾藤之進、他	同上	1	御成儀のこと
667	同上	3月18日	持田金助	同上	1	御成儀のこと
668	同上	3月10日	安藤内膳、他	同上	1	心齋院御玉の巻留御向料
669	同上	8月29日	柳川伊兵衛、他		1	使巻兼山礼状
670	同上	8月19日	飯沼平兵衛、他	元慶寺	1	包裏守割儀の御成
671	同上	6月14日	山一源一衛門	同上	1	礼状
672	同上				2	
673	同上	5月8日	高岡内之進、他	新豊寺	1	送り状
674	同上	文久1年7月9日	林庄左衛門、他	元慶寺	1	龍中見舞礼状
675	同上	12月18日	福井内匠介、他	同上	1	龍中見舞礼状
676	同上	3月27日	岩田彦助、他	同上	1	返書、玉置見分書
677	同上	12月29日	秋元一学	同上	1	春光院200回忌法書依領文
678	同上	6月	林庄左衛門、他	同上	1	龍中見舞礼状
679	同上	安永8年7月17日	岩田彦助、他	同上	1	光徳院200回忌依領
680	同上		秋元信守守家胡	同上	1	春光院200回忌の礼
681	同上	1月2日	藤村宗左衛門、他	同上	1	作庭の代巻
682	同上	10月28日	藤山十右衛門	元慶寺恩返	1	
683	巻				1	念正
684	巻	2月			1	佐藤介氏年賀禮状
685	同上	12月18日	石田八左衛門、他	元慶寺	1	龍中見舞
686	同上	12月	林庄左衛門	同上	1	龍中見舞礼状
687	同上	6月14日	山田阿左衛門	元慶寺内取巻	1	不幸につき送り御成儀のこと返書
688	同上	1月2日	小保内膳介	元慶寺	1	依領文
689	同上	7月1日	妹尾豊左内	同上	1	主君宗光女院となる
690	同上	2月4日	小保七郎、他	同上	1	
691	巻				1	
692	巻	6月29日	高田勘太夫	元慶寺	1	門内建承取の付
693	同上	12月16日	高橋玄之門、他	同上	1	龍中見舞礼状
694	同上	10月17日	長谷川宗之直	同上	1	
695	同上	12月3日	松本仁兵衛	同上	1	春光院200回忌礼状
696	同上				1	送り状
697	同上	11月6日	矢野旗之介	元慶寺	1	春光院200回忌御成儀(礼について)
698	同上		高田植蔵	同上	1	
699	同上		妹尾右衛門	同上	1	礼状
700	羽籠宮木部之覚帳	慶応4年5月吉日			1	
701	羽籠大権現御記	慶応4年3月			1	伝説と并ばず書
702	天和寺遺跡切取御成儀				1	取水口から船工御成儀まで
703	羽籠宮内建仕棟書	慶応4年6月			1	棟梁佐吉の再建仕棟書
704	羽籠宮再建勤化帳	慶応4年7月			1	村36不明
705	社殿設計図下書				1	未完成の社殿御成儀
706	羽籠権現御成儀	慶応4年續々			1	以図、川原住佐義之進
707	柳野村元慶寺境内羽籠大権現御成儀	慶応3年5月			1	関られた由果
708	羽籠入道再建勤化帳巻	慶応4年6月			1	越社新町分司
709	権現御成儀につき覚帳書	慶応4年7月			1	権現宮次
710	羽籠権現再建契約書	慶応4年7月			1	石殿2間半、奥行9尺
711	木門覚帳	慶応1年7月			1	大工佐吉の帳
712	羽籠勤化帳名簿	明治元年11月			1	川原藤原出分
713	覚帳	慶応4年7月25日	十郎門前在方取納役松村右中	福沼金次、他	1	高橋宮野につきその職料受取成文
714	羽籠権現御成儀	慶応3~4年頃			1	佐吉のものか(御成儀)
715	同上				1	佐吉のものか(正図)
716	新願書	慶応4年4月18日			1	松平源次郎の覚帳書
717	羽籠大権現住文帳	慶応4年3月	棟梁佐吉	元慶寺	1	
718	羽籠宮木部覚帳	慶応4年6月吉日			1	
719	羽籠権現再建木口図	慶応1年8月			1	市津用材の寸法
720	羽籠宮再建勤化帳	慶応4年7月			1	寄付帳
721	清冊				1	巻6録
722	羽籠大権現御成儀	生誕12月4月			1	古田本より御成儀をうけ取
723	羽籠権現再建御成儀	慶応4年2月			1	由来と巻帳者名簿
724	巻	1月3日	福井内匠介、他	元慶寺	1	年賀状、名代について
725	同上	6月20日	岩田彦助、他	同上	1	龍中見舞礼状
726	同上				1	白銀2枚
727	巻	4月16日	長谷川宗之直	元慶寺	1	送り状
728	同上	5月20日	飯佐衛門	同上	1	事務所修理承取
729	新物状				1	200名

文書番号	表 題	年 代	差 出	宛 先	数	備 考
730	賀 書	7月4日		元慶寺	1	同向料状
731	書 簡	2月	堀井内介介、他	西 上	1	年賀札状
732	同 上	6月18日	柳田新左衛門	西 上	1	
733	同 上	10月7日	久良清太夫	西 上	1	西寺代の送り状
734	同 上	3月27日	五藤彦右衛門	西 上	1	進物送り状
735	同 上	3月3日	太田幸之丞、他	西 上	1	祈禱書
736	同 上	(正し)	相田万之丞、他	西 上	1	年賀のあいさつ
737	書簡目録	11月9日				
738	書 簡	11月7日	大塚源八郎、他	元慶寺	1	山形院法曹札状
739	大塚院二十三回忌法要次第					
740	書 簡	11月1日	杉江安貞齋	元慶寺	1	安否簡
741	書簡(控)	9月28日	元慶寺	村松茂助、他	1	修徳簡
742	書簡	4月15日	大塚小車人	元慶寺	1	了勤院法曹依頼
743	同 上	6月23日	藤谷孝左衛門、他	同 上	1	寺徳院3回忌依頼書
744	書簡(控)	5月		同 上	1	秋元昌房守が上野敷に懸いた書簡
745	包 紙	6月				
746	書 簡	寛3月15日	田中八兵衛	元慶寺	1	金子細心の送り
747	書簡(写)	閏3月	元慶寺	朝家老齋	1	シクヤ年の法要料
748	書 簡	1月15日	秋元紹馬守宗嗣	元慶寺	1	札 状
749	同 上	12月1日	秋元一守茂朝	西 上	1	家西長徳相済み
750	同 上	1月15日	秋元源平次宗朝	同 上	1	年賀状
751	同 上				4	覺心院簡紙
752	同 上				4	秋元車人家藏相結
753	同 上	1月23日	秋元越中守	元慶寺	1	年賀のあいさつ札状
754	同 上	1月2日	長谷川八郎、他	同 上	1	年賀の札、名代
755	同 上	2月13日	小坂七郎、他	同 上	1	長寿院死去連絡
756	同 上	6月10日	秋元徳勝守義朝	同 上	1	兼中見置札状
757	同 上	6月18日	岩田徳助、他	同 上	1	安否簡と送り状
758	同 上				1	浅間様出水被書
759	同 上	7月8日	矢野勇人夫	元慶寺	1	簡い承知
760	簡紙(下巻)	6月	元慶寺	押田六兵衛、他	1	山形修徳の件
761	書 簡	9月11日	田中利兵衛	元慶寺	1	善光院歳上挨拶埋め簡
762	同 上	3月10日	秋元左衛門守朝	同 上	1	火事免置札状
763	同 上	12月7日	矢野慎之介	同 上	1	善光院200回忌事代について
764	同 上	9月19日	小坂七郎、他	同 上	1	左衛門作吉長相結につき新纏
765	巻つとり					贈進物の受けとり
766	大塚院十五回忌法要次第	本月初九日			1	
767	書 簡	9月11日	小坂七郎、他	元慶寺	1	山形へ知らせることをほめる文
768	同 上	(文化七年) 6月23日	元慶寺	小坂七郎、他	1	元慶寺22回申中刻本家中央に落書不足、御書置、中押権、下巻 権成失
769	同 上	1月2日	簡写安左衛門	元慶寺	1	年賀の札、名代
770	同 上		矢野清太夫	同 上	1	酒谷安位碑送り状
771	同 上	3月9日	大塚寺典勝	同 上	1	鎌倉院200回忌法要
772	書簡(控)	8月6日	安中左近、他	同 上	1	水引書のこと
773	書 簡	9月16日	伊千野修玄工門	同 上	1	修置は以後徳林へ申し出ること
774	書 簡	大塚5年4月			1	元慶寺権目の連絡状
775	書 簡	7月4日	秋元車人		1	兼中見置札状
776	同 上	8月24日	小坂七郎、他	元慶寺	1	江戸院200回忌法要依頼書
777	同 上	6月20日	藤野与五郎門	同 上	1	兼中見置札状
778	同 上	12月20日	藤田勘太夫、他	同 上	1	兼中見置札状
779	同 上	7月21日	新双林寺	同 上	1	新徳院入院のこと
780	同 上	1月2日	入矢善十郎、他	同 上	1	年賀代書のこと
781	同 上	6月24日	鎌田勘太夫	同 上	1	修置高座のこと
782	同 上	6月18日	北藤信成、他	同 上	1	位階増進相結書承知のこと
783	同 上	8月10日	久良清太夫	同 上	1	石巻院等について、心徳院のこと ご挨拶まげすをつけま
784	同 上		高川源次齋	同 上	1	兼中見置札状
785	書簡(控)	(文化七年) 8月23日	元慶寺	庄和作工門、他	1	元慶寺見置のため本堂等焼失の 知らせ
786	書 簡	1月2日	秋元石介	元慶寺	1	年賀状札状
787	同 上	6月10日	藤田勘八	同 上	1	心徳院玉垣の設計について
788	同 上	9月28日	藤谷武右工門	同 上	1	玉垣の行
789	同 上	2月14日	秋元馬生	同 上	1	年賀状札状
790	同 上	1月28日	秋元馬守	同 上	1	同 上
791	同 上	11月8日	浄徳院文書	松永正徳齋	1	札 状
792	同 上	4月28日	杉江俊右工門	元慶寺	1	心徳院200回札状
793	同 上	11月14日	大塚源俊所		1	善光院200回忌法要料帳
794	同 上					
795	同 上	8月	徳徳寺	双林寺	1	寺院体につき書泊不能の行
796	同 上	12月20日	林江左工門	元慶寺	1	兼中見置札状
797	同 上		堀田徳助	同 上	1	善光院修置式事代簡の事
798	同 上				1	修置の簡紙の送書
799	書簡(控)	5月19日	元慶寺	岡崎平八郎、他	1	家徳院玉垣拜札の簡紙
800	双林寺住持名刺					13~18世、21世
801	書 簡	7月1日	入塚源五右工門	元慶寺	1	徳徳の簡紙札状
802	同 上	9月10日	鎌田勘太夫、他	同 上	1	土佐の札状、但馬守三の丸庄簡 となる

文書番号	表	裏	年代	差出	宛先	数	備考
800	書 簡		6月24日	講田勘太夫、他	元慶寺	1	大隆院50回忌回向御状、清隆院200回忌にあわせて進上のごと
804	同 上		12月7日	西條源兵衛		1	祝詞普請の紙の返事
806	書 簡		11月5日	吉田八百一門	元慶寺	1	春光院200回忌回向名代の添状
806-2	口 録					1	同向詞、馬代
807	書 簡		12月18日	秋元集入正	元慶寺	1	御中見舞状
808	同 上		4月9日	秋津津守	同 上	1	おたのめ札状
809	同 上			善興寺武平、他	同 上	1	御講承知のご
810	同 上			下江佐大夫	同 上	1	淋症院去来の帳
811	原 簿		文政3年6月	高村源蔵		1	秋元御前所進上人のお書
812	書 簡		6月11日	誅尾友之進、他	元慶寺	1	境内破損で見分依頼
813	同 上			秋元集入	同 上	1	御中見舞状
814	同 上		4月3日	双林寺造山和出	同 上	1	入山通知
815	同 上		1月26日	秋田馬守	同 上	1	年賀状札状
816	同 上		1月26日	同 上	同 上	1	年賀状
817	同 上		2月6日	秋伊藤守	同 上	1	年賀、返物札状
818	同 上		4月23日	同 上	同 上	1	入院入薬の札状
819	同 上		4月17日	山口御作	同 上	1	心願院法要に名代として参上の御札状
820	同 上		1月22日	長山善兵衛	同 上	1	年賀状
821	同 上		4月9日	小松十郎	同 上	1	札 状
822	同 上		1月29日	秋元越中守	同 上	1	年賀状
823	見 録					1	同 録
824	書 簡				元慶寺	3	近火見舞
825	状		1月		同 上	1	下経書
826	見 録					1	双林寺住職
827	書簡(原)					1	雷空再臨に際しての札状下書
828	書 簡		万延甲子2月18日	林庄左衛門	元慶寺	1	御中見舞状
829	同 上		1月28日	秋元一孝	同 上	1	家書新し札状
830	同 上		1月2日	小堀内蔵行	同 上	1	年賀状及び御へ向の書置き札
831	同 上		6月3日	国友栄助、他	同 上	1	御元日返状御所傳御許可
832	同 上		1月5日	国友栄助、他	同 上	1	春光院御元日返しごき代見分送
833	同 上		12月23日	池村宗右衛門、他	同 上	1	難山阿彌状
834	同 上		12月11日	安藤主左衛門、他	同 上	1	志心院御元日御完成の御通知
835	書簡(原)		10月10日	元慶寺	後河内守之進、他	1	春光院200回忌法要の知らせ
836	報(講文原簿)					1	御講帳、No30の続
837	書 簡		12月21日	秋元一孝	元慶寺	1	おたのめ回向法要奉書返承知
838	同 上		6月18日	満山藤田南	同 上	1	代巻止書
839	同 上		8月10日	矢野玄一郎	同 上	1	札 状
840	同 上		11月3日	岩田善助	同 上	1	代巻紹介状
841	同 上		1月2日	誅尾友之進	同 上	1	年賀状
842	同 上		3月2日	磯五郎左衛門	同 上	1	宝篋印修書の旨
	香障壁						白檀ち板、7口置
843	平鹿印塔の図		別内			1	写の図、補綴箇所を朱で示している
844	秋元氏御子図					1	写
845	入り口平面					1	約写
846	棟木部分の図					1	御用木材記入
847	建物棟木部分の図					1	写
848	石燈籠の図					1	約写、八尺二寸四分
849	本堂平面図					1	写
850	山門正面図					1	現在のもの写
851	山門左側面図					1	現在のものではない約写
852	御講堂裏面図					1	約写
853	建物御堂図					1	写
854	御講堂側面図					1	写
855	仏壇前部并に御講堂平面					1	写と写
856	建物南面図					1	写
857	御講堂(仏壇)正面図					1	約写
858	元慶寺平面図		明治2年6月			1	写、境内池、200坪、建坪365坪20石
859	元慶寺縮図		江戸			1	色 別
860	御講堂平面					1	写
861	本堂平面					1	写
862	秋元氏墓地平面図		3月			1	約写
863	建物入り口部分平面					1	写
864	建物合天井図					1	約写
865	山門正面図					1	約写(現在のものではない)
866	本堂平面図		江戸			1	約写
867	元慶寺御講堂再建止平面図					1	約写
868	元慶寺御講堂側面図					1	約写
869	書 簡		12月	秋元一孝	元慶寺	1	御中見舞状
870	同 上		文久2年12月14日	秋元心近	同 上	1	同 上
871	書 簡		7月	大津又五郎	同 上	1	送り状
872	御講堂文の写		6月	吉蔵(大工)	御役人衆中	1	
873	書 簡		11月24日	秋元善津守	元慶寺	1	不空お徳め札状
874	同 上		11月16日	秋元石近	同 上	1	春光院250回忌法要料下経料

文書番号	表	題	年代	筆出	宛先	数	備考
875	東	簡	12月18日	村上充工門	元慶寺	1	賽中見舞礼状
876	同	上	1月15日	市川藤内	同上	1	年賀礼状
877	寛		5月10日	名代藤山十郎左 工内		1	御堂前
878	書	簡	3月7日	海辺弥一郎、他		1	修賢承知のこと
879	書	簡(控)	6月29日	元慶寺	安藤安之丞、他	1	大塚院500回法要の禮状
880	書	簡	12月18日	太禰寺典藏	元慶寺	1	先相石塚再建及び石塚内の礼状
881	同	上	1月3日	大塚寺の御	同上	1	修了修否及び先相石塚内依願
882	同	上	6月18日	村上充工内、他	同上	1	昌高寺寂果につき返す返り状
883	寛		7月	大津又五郎	同上	1	秋付簡
884	書	簡	3月15日	矢野信玄工門	同上	1	衣室御祈礼状
885	同	上	6月18日	秋原慶守	同上	1	賽中見舞礼状
886	同	上	7月6日	秋光藤守	同上	1	賽中承知の礼状
887	同	上	3月15日	筑前林寺住持南	同上	1	入院通知
888	同	上	1月19日	秋光藤守	同上	1	年賀礼状
889	同	上	10月7日	藤中勘太夫	同上	1	礼状
890	同	上	7月20日	藤江兼石工門	同上	1	賽中見舞礼状
891	同	上		元慶寺、光藏寺		1	伊賀守遣見舞御問書
892	同	上	1月2日	鎌江兼石工門	元慶寺	1	宝徳恩の件
893	同	上	4月9日	高田源盛	同上	1	あいさつ状
894	同	上	9月18日	小塚七郎、他	同上	1	心齋院石塚延光文成のこと
895	同	上	7月9日	小塚七郎、他	同上	1	豊楽座儀守舟立状
896	同	上	1月19日	秋原慶守	同上	1	御承知の御見舞の礼状
897	同	上	7月18日	新徳助兵衛	同上	1	深間御茶番の返書
898	同	上	1月2日	高山兼兵衛	同上	1	年賀代巻のこと
899	同	上	1月2日	福井内匠介、他	同上	1	同上
900	同	上	1月20日	秋光石匠	同上	1	年賀礼状
901	寛		5月		同上	1	供養料
902	書	簡(控)	3月11日			2	位就工匠修養
903	書	簡	1月2日	川上文蔵、他	元慶寺	1	年賀代巻のこと
904	同	上	6月20日	大津又兵衛	同上	1	昌高寺との会見奉内状
905	同	上	2月4日	小塚七郎、他	同上	1	伊賀守との御見舞の礼状
906	同	上	4月25日	田島甚右衛門	同上	1	昌高寺との会見奉内状
907	書	簡(控)	2月28日	元慶寺玄奘	長洲川之重、他	1	贈答簡
908	寛		7月	大津又五郎	元慶寺	1	御石につき巻巻禮状
909	書	簡	12月1日	岩田源盛	同上	1	各光院法要礼状
910	同	上	寛政6年1月3日	高山又左工門	同上	1	修善寺行き見舞分封書送付のこと
911	同	上	9月18日	坂崎平兵衛	同上	1	礼状
912	同	上	7月13日	杉江石匠	同上	1	心齋院石塚依願
913	同	上	4月9日			1	昌高寺(昌高依願)
914	寛		7月	宇山	元慶寺	1	杉高600
915	書	簡(控)	6月17日	元慶寺	福井内匠介、他	1	昌高院200回法要御問書
916	書	簡	1月1日	岡田兵八郎	元慶寺	1	年賀礼状
917	同	上	2月6日	藤山十郎左工門	同上	1	贈答簡
918	同	上	12月18日	秋光保人	同上	1	改名書簡
919	同	上	11月7日	小塚七郎、他	同上	1	初目見につき賽前に昌高料下届
920	同	上	10月5日	川崎五兵衛、他	同上	1	賽前承知
921	同	上	2月21日	松尾忠助、他	同上	1	誠心院100回法要に代参書簡
921-2	同	上	2月21日	高山又左工門	同上	1	同上
921-3	寛		2月24日	大津又兵衛		1	法事料目録
922	書	簡	12月18日	秋光保人	元慶寺	1	賽中見舞礼状
923	同	上	3月7日	山口勘太夫、他	同上	1	庵所別寄書送付につき賽前和付のこと
924	同	上	12月15日	秋光保人	同上	1	賽中見舞礼状
925	同	上	4月27日	大次郎兵衛	同上	1	福田あいさつ状の届に対する礼状
926	同	上	5月11日	秋原昌守宗助	同上	1	修了の返書が先相見舞の礼に添えを贈る
927	同	上	8月16日	杉本河右衛門、他	同上	1	高の太木を門廊柱に使用。昌高承知
928	同	上	6月17日	杉江安兵衛、他	同上	1	宝徳修養について見舞提出のこと
929	寛		受けとり状				
930	書	簡	7月18日	和田左衛門、他	元慶寺	1	
931	同	上	10月10日	杉江兼石工門	同上	1	昌高院1回法要法事修養
932	同	上	6月17日	妹尾友之丞、他	同上	1	大塚院500回法要依願状
933	同	上	6月29日	河野大助、他	同上	1	元慶寺関係につき修養の事を昌高寺に知らせる(ほしい)
934	同	上	11月15日	久保貞太夫、他	同上	1	修善寺元慶の事
935	同	上		太禰寺典藏	同上	1	先相の法号について
936	同	上	6月21日	福井内匠介	同上	1	賽中見舞礼状
937	寛		受けとり				
938	書	簡(控)				3	
939	書	簡	3月5日	太禰寺典藏	元慶寺	1	先相の法号送修の礼状
940	書	簡(ト書)				1	
941	書	簡				6	
942	同	上	1月23日	秋原昌守	元慶寺	1	年賀状
943	同	上	12月1日	新徳助兵衛	同上	1	昌高院法事礼状
944	同	上	8月9日	鶴崎守武平、他	同上	1	磯崎の家出1万石寺へ出願1枚

文書番号	表	種	年代	差出	宛先	数	備考
945	書簡		2月6日	秋元馬守	元興寺	1	年賀状
946	同上		6月16日	秋元次郎	同上	1	お目見報告
947	同上		2月1日	秋元源守	同上	1	年賀状
948	同上		10月15日	秋元集休	同上	1	幕僚の節の礼状
949	同上		8月11日	秋元滋盛	同上	1	養子2人の礼状
950	同上		10月7日	秋元越中守	同上	1	御節祝礼状
951	同上		3月26日	秋元一孝	同上	1	春光院200回忌依体領文
952	同上		8月6日	秋元保五郎	同上	1	氷巻につま200疋岸上
953	同上		4月8日	秋元馬守	同上	1	礼状
954	同上		9月20日	秋元石近	同上	1	中川御番お成しの志事
955	書簡				元興寺	1	朱印御禮
956	書簡		閏8月20日	加藤助次郎	元興寺	1	単人止迫しの報
957	紙1枚		9月25日		同上	1	15世内葬成立
958	書簡		8月3日	小塚七郎、他	元興寺	1	江月院法要依頼
959	書(御用書)		享保20年10月10日	文七			
960	書簡			藤田源助	元興寺	1	要取書
961	同上		12月1日	加藤武平	同上	1	京中見舞志事
962	同上		7月3日	松岡五左衛門	元興寺	1	礼状と送り状
963	同上		2月20日	家崎平三	同上	1	御座り御所お祈り希望
964	同上		10月23日	秋元山内代	同上	1	御幕へ代簡に出ること
965	同上		6月6日	大伴又五郎	同上	1	礼状
966	同上		1月2日	村山藤解由	同上	1	附送送り状
966-2	同上		1月3日	林庄左衛門	同上	1	年始時代の紹介状
966-3	同上		12月	同上	同上	1	同上
966-4	同上		12月	同上	同上	1	同上
966-5	同上		1月2日	川上文義、他	同上	1	京中見舞礼状
967	書簡(控)		7月22日	元興寺	岩田三郎、他	1	年賀代志送附
968	書簡			市川廣政、他	元興寺	1	京中見舞礼状
969	書簡		享和3年4月	石工孝七	同上	1	宝興橋石見積
970	書簡		11月2日	双林寺道遠和尚	同上	1	入院通知
971	同上		7月10日	双林寺東大和尚	同上	1	入院通知
972	同上			松江重石工門、他	同上	1	光院250回忌代志のこと
973	同上		1月11日	太盛寺之丞、他	同上	1	年賀礼状
974	同上		林神27日	双林寺大衆和尚	同上	1	入院通知
975	同上		4月17日	關口助作	同上	1	年賀の礼状
976	同上		8月10日	松本白菊内	同上	1	江月院200回忌原名代となる件
977	同上		9月18日	下江佐太夫、他	元興寺	1	御所工指立御座代書送り状
978	同上		6月19日	藤田十左衛門	元興寺	1	京中見舞礼状
979	同上		8月10日	松本貞丁内、他	同上	1	御所内儀につま書見舞分付書状
980	同上		3月16日	下江佐太夫	同上	1	御所玄因に権司届書の通知のこと
981	同上		6月10日	安藤内蔵	同上	1	近中興寺御座の報
982	同上		2月16日	大谷左五郎	同上	1	新藤内礼状取に對する返書
983	書簡(控)		6月21日	元興寺	榊川貞盛、他	1	表門町移住届
984	書簡			同上	同上	1	煩取報
985	書簡		8月2日	藤崎孫左衛門	元興寺	1	現帳帳つけ報告通知のこと
986	書簡		甲11月11日	元興寺	田友米助、他	1	法事届書簡の補送
987	書簡		3月10日	林江左衛門、他	元興寺	1	年始御座に對する礼状
988	同上		7月28日	田中貞盛、他	同上	1	春光院法要向向科で御所工指立書のこと
989	同上		6月3日	下江佐太夫	同上	1	入院通知
990	同上		6月18日	高山真左衛門	同上	1	春光院200回忌恩方玉返御禮
991	同上		7月2日	福井内近介	同上	1	京中見舞礼状
992	同上		1月11日			2	
993	同上		秋元一孝	元興寺	1	礼状	
994	同上		6月8日	岡谷兵八郎	同上	1	用人送付件取の礼状
995	同上		又久1年7月	高川彌兵衛、他	同上	1	京中見舞礼状
996	書簡(控)		4月10日	元興寺	加藤清太夫、他	1	御座り届書について
997	書簡(控)		享保12月20日	小林安左衛門、他	元興寺	1	京中見舞礼状
998	同上		年1月	岡谷兵八郎、他	同上	1	御座り届書による御座り届書
999	同上		6月10日	安藤内蔵	同上	1	心懸院御所工指立書送り状
1000	同上		6月29日	岡谷兵八郎、他	同上	1	京中見舞礼状
1001	書簡						
1002	書簡		甲11月6日	杉江左五郎	元興寺	1	幕僚所分奉御座り届書
1003	送り状		7月4日	大塚源盛、他	同上	1	寄進金手送り状
1004	書簡(控)		6月10日	元興寺	高川清左衛門	1	春光院200回忌前につま干玉御座り届書
1005	書簡		6月20日	關口民衛		2	化院法要依頼
1006	同上			高川清左衛門、他	元興寺	1	御所見舞礼状
1007	同上		1月3日	支村玄成内、他	同上	1	近頃代志書向の件
1008	書簡(控)			元興寺		1	正徳御座り届書御座り届書
1009	書簡					4	簡林替換のことなど
1010	同上		1月2日	武井源右衛門	元興寺	1	年始名代御座り届書
1011	同上		10月7日	秋元馬守	同上	1	御節祝礼状
1012	同上			菊池九乙工門	同上	1	年始礼状
1013	書簡(控)		1月20日	元興寺	御用人中	1	宝興橋御座り届書
1014	書簡		3月27日	小塚七郎、他	元興寺	1	心懸院200回忌法要依頼
1015	同上		9月2日	箕原石左衛門	同上	1	表門再修完了下書のこと
1016	同上		享保5年8月11日	林庄左五郎、他	同上	1	御座り届書に代志書向のこと

文書番号	表 題	年 代	差 出	宛 先	数	備 考
1017	書 簡	年1月	伊王新造左工門	元慶寺	1	年始札状
1018	同上	1月28日	五藤小源太、他	同上	1	同上
1019	同上	1F25日	秋田馬守	同上	1	同上
1020						
1021	書 簡	10月16日	林江左工門、他	元慶寺	1	宝徳山延徳堂立書文
1022	同上	17月6日	小森仁郎	同上	1	尊徳院1700原法要依頼
1023	同上	11月27日	小森十郎、他	同上	1	尊光院250回忌法要札状
1024	同上	11月13日	美賀格之助、他	同上	1	ち井内高方への御悔札状
1025	同上	8月11日	太源寺典義	同上	1	御石依紙
1026	同上	12月29日	高谷達輔介、他	同上	1	寒中免辨札状
1027	同上	10月26日	関口源太夫、他	同上	1	心越院法事御子善仁業内状
1028	同上	2月17日	中村庄太夫	同上	1	御子祝札状
1029	書簡(控)	12月7月	元慶寺	松尾心助、他	1	寒中免辨札状
1030	書 簡	2月2日	吉田清助、他	元慶寺	1	家書に「つきま納金下賜
1031	同上	8月24日	松江安兵衛	同上	1	江戸配200回忌法要高内状
1032	書簡(控)	6月2日	元慶寺	坂本右三門、他	1	表門御書下下賜札状
1033	書 簡				1	大塚院250回忌御向
1034	書 簡	11月7日	石田十右内、他	元慶寺	1	白鳥守忠大徳院の札状
1035	同上	7月			1	小森仁郎白雲斎前御覚
1036	書 簡	安政5年6月23日	妹尾友之丞、他	元慶寺	1	寒中免辨札状
1037	同上	5月3日	藤名武右内	同上	1	位階普請奉書御祈り状
1038	同上	7月4日	小森七郎、他	同上	1	大塚院250回忌法事札状
1039	同上	3月23日			1	法事料書入
1040	書 簡	1月23日	齋藤九左工門	元慶寺	1	御家宛送付につき向後25年御手
1041	同上	4月29日	村杉兵衛助、他	同上	1	忌紙状
1042	同上	2月6日	内谷弥兵衛、他	同上	1	心越院200回忌法要内状光厳
1043	同上	9月24日	陣出八兵衛、他	同上	1	大塚院通帳二巻御覚一巻送り状
1044	同上				2	
1045	同上	1月3日	齊田忠助	同上	1	近衛仁善業内状
1046	同上	10月1日	吉田八工門	同上	1	尊光院法事御しの返書
1047	同上	1月6日	小森七郎	同上	1	江賀札状
1048	同上	11月23日	中村宗左工門	同上	1	寒中免辨札状
1049	同上	12月4日	小森七郎、他	同上	1	同上
1050	同上	12月4日	同上	同上	1	同上
1051	同上	10月26日	石川金五介、他	同上	1	伊藤守實大の御
1052	同上	11月16日	秋津達守	同上	1	心越院法事御札
1053	同上	2月22日	秋左衛門内	同上	1	拜賀札状
1054	同上	1F10日	山田源左工門	同上	1	年始名代通向のこと
1055	同上	2月7月	新嘉寺尊徳院	同上	1	入山通知
1056	同上	12月14日	市川實内、他	元慶寺	1	寒中免辨札状
1057	同上	1月14日	市川實内、他	同上	1	年始札状
1058	同上	9月25日	高橋左工門	同上	1	金子送り状、他
1059	同上	12月7日	近衛八工門、他	同上	1	尊光院法事札状
1060	同上	文久3年1月15日	秋元石社	同上	1	年賀札状
1061	書 簡	年7月	藤江仲左工門		1	大塚院様35回忌法事料
1062	書 簡	1月1日	秋津達守	元慶寺	1	お目録御向
1063	書簡(控)	6月16日	元慶寺	瀬山清左工門	1	尊光院200回忌に当り玉型御禮
						依頼
1064	書 簡	4月9日	福井三四郎	元慶寺	1	巨馬子より御贈物の札状に対する返書
1065	同上	6月6日	秋田馬守	同上	1	岩次郎お白書通知
1066	同上	8月1日	柳川角之進	同上	1	深雪場250回(尊光院のこと
1067	同上	11月7日	長山福次郎、他	同上	1	札 状
1068	同上	4月12日	海辺弥一郎	同上	1	宝珠寺修葺許可
1069	同上	9月11日	西友半助	同上	1	本願院法事送り状
1070	同上	申	中藤實一郎、他	同上	1	寒中免辨
1071	同上	2月	山藤新五郎、他	同上	1	年始札状
1072	同上	1月25日	秋元源達守	同上	1	同上
1073	同上	12月8日	天良一学、他	同上	1	寒中免辨札状
1074	同上	8月10日	藤谷武工門、他	同上	1	江戸配200回忌法要
1075	書簡(控)	慶8月	双林寺	御役人中	1	
1076	書 簡	11月7日	齋藤九右工門	元慶寺	1	尊光院200回忌法事料送り状、日録
1077	同上	宝暦5年11月9日	双林寺院和南	元慶寺座禪師	1	入山通知
1078	同上	11月26日	秋元石社	元慶寺	1	寒中免辨札状
1079	同上	1月15日	齋藤九右工門	同上	1	年始札状
1080	同上	8月28日	秋津三郎	同上	1	初お目録につきお礼を送る
1080-2	包 紙				1	
1080-3	目 録				2	法事目録
1081	書 簡				3	
1082	同上	11月29日	秋田馬守	元慶寺	1	岩草1和
1083	書簡(控)	6月12日	元慶寺	大塚と西助、他	1	江戸再建依頼
1084	書 簡	万延2年1月15日	中込丹三郎、他	元慶寺	1	拜賀状書札
1085	同上	申1月3日	山藤新五郎、他	同上	1	寒中免辨札状
1086	同上	2月6日	秋田馬守	同上	1	伊藤守経景の書状に対する札状
1087	同上	6月22日	中込三郎、他	同上	1	徳蔵につき代答御向のこと
1088	同上	11月	堀谷右兵衛、他	同上	1	尊光院立碑元願につき飛騨屋向
						尊光院の納帳、遺物の送り状

文書番号	表	題	年代	書出	宛先	数	備考
1089	書簡		1月28日	秋元石好	元興寺	1	年賀札状
1090	同上		5月3日	秋元軍人	同上	1	任職就任祝い
1091	同上				同上	2	札状
1092	下書						
1093	書簡		1月21日	秋谷忠左工門	元興寺	1	先祖位牌の納い合せ
1094	同上		3月18日	秋高屋前 南満	元興寺乃至、他	1	寺詣寺一件の書付送付済の通
1095	同上		7月18日	秋高屋一左工門	元興寺	1	夜読院発願
1096	同上				同上	2	
1097	同上		11月6日	林庄左工門、他	同上	1	但馬守御方御去来賀状
1098	同上		7月8日	高山左工門、他	同上	1	年中見舞札状
1099	同上		11月1日	秋高馬守	同上	1	年賀札状
1100	同上		9月10日	嶋谷石兵衛、他	同上	1	右様丁御方御去来賀状
1101	同上		7月4日	嶋谷三太夫、他	同上	1	大塚原33日間の法要札状
1102	同上		11月26日	小柴七郎、他	同上	1	厚良院位牌送り状
1103	同上		間7月28日	國友朱助	同上	1	寺井谷園方の法要札春光院250日回法要依頼
1104	同上		12月13日	新色双林寺	同上	1	蓮山通知
1105	平面図						
1106	書		5月10日	堀川十郎左工門	元興寺	1	御霊明奉納書
1107	書簡		10月6日	井田兵衛	同上	1	御様子啓
1108	同上		1月24日	山崎新五左工門	感徳	1	及重三送送り状
1109	同上		3月26日			1	宝篋の心願願し願の字を記す
1110	同上					1	心願願の御霊明奉納札状
1111	同上		11月16日			6	
1112	同上		1月20日	秋高屋守	元興寺	1	任職札状
1113	同上		1月30日	秋元軍人正	同上	1	札状
1114	同上		兼1月20日	嶋川三郎兵衛、他	感徳	1	入用書状
1115	同上		2月2日	秋高馬守	元興寺	1	彌子御霊明祝いの札状
1116	同上		2月2日	新色石兵衛、他	同上	1	長閑祝死去相み札状
1117	同上			朱鳥清太夫、他		1	享徳院3回御法要召(第四、他)
1118	同上		11月13日	加藤勘次郎、他	元興寺	1	使人正御御賀
1119	同上		12月21日	嶋谷謙吉、他	同上	1	年中見舞札状
1120	同上		11月19日	秋元石好	同上	1	家書祝し札状
1121	同上		7月	林庄左工門、他	同上	1	年中見舞札状
1122	同上		12月21日	嶋谷謙吉、他	同上	1	年中見舞札状
1123	同上		11月18日	新加藤兵衛	同上	1	朱印御賀の状の返書
1124	同上			高山左工門、他	同上	1	年中見舞札状
1125	同上		6月28日	秋元一孝	同上	1	同上
1126	同上		6月12日			1	御晴につき永井科儀御分に御賀
1127	同上		6月7日	山崎新兵衛、他	元興寺	1	加藤院御札及び寺詣寺一件承知
1128	同上		11月13日	秋元石好	同上	1	家書につき金目足葉上
1129	同上		12月18日	國友謙吉	同上	1	年中見舞札状
1130	同上		10月14日	山崎新五左工門	同上	1	享徳院17回御名代巻通知
1131	同上		10月13日	林庄左工門、他	同上	1	享徳院7回御法要依頼
1132	書					1	法事料
1133	書簡		2月1日	秋元軍門佐	元興寺	1	任職札状
1134	同上		2月14日	山崎新兵衛、他	同上	1	山崎院御賀
1135	同上		6月18日	相田新五左工門	同上	1	玉道修業奉納のごこと
1136	同上		6月24日	出陣御兵衛	同上	1	札状、使者家内状
1137	同上		2月9日	家越平孝	同上	1	飯越家来歴について
1138	同上					6	
1138-1	紙物状						
1138-3	書簡		慶4月11日	双林寺	元興寺	1	入院通知
1139	同上		6月27日	秋元一孝	同上	1	不承御賀札状
1140	同上		11月23日	同上	同上	1	お禮み札状
1141	同上		6月24日	秋元石好乃至	同上	1	男子山牛祝いの札状
1142	同上		9月16日	秋元軍門佐	同上	1	了願御賀書のお禮み札状
1143	同上		安政5年1月	秋元石好	同上	1	年賀札状
1144	同上		6月28日	秋高馬守	同上	1	括三郎御初御賀祝いの札状
1145	同上		11月21日	同上	同上	1	落三郎御賀祝いの札状
1146	同上		11月25日	同上	同上	1	年賀札状
1147	同上		11月24日	同上	同上	1	お禮み札状
1148	同上		2月16日	同上	同上	1	年賀札状
1149	同上		11月27日	同上	同上	1	撰津守御賀祝いの札状
1150	同上		12月16日	同上	同上	1	撰津守御賀祝いの札状
1151	同上		11月27日	同上	同上	1	秋高馬守御賀祝いの札状
1152	同上		10月7日	秋元和守	同上	1	双林寺入院祝いの札状
1153	同上		6月23日	同上	同上	1	不承御賀札状
1154	書簡(控)		6月20日	元興寺	嶋谷石兵衛、他	1	大塚原7回御法要
1155	書簡		1月	山崎新兵衛、他	元興寺	1	年賀札状
1156	同上		6月	元興寺		1	年賀御賀書の上書
1157	同上		12月16日	小柴七郎、他	元興寺	1	左門前初御賀祝いの札状
1158	同上		兼12月26日	國友謙吉	同上	1	年中見舞札状
1159	同上		10月28日	長山崎左工門	同上	1	春光院法事の御礼札の御
1160	同上		12月16日	秋元軍門佐	同上	1	お礼御賀祝いの札状
1161	同上		11月16日	堀川新兵衛、他	同上	1	奥方への年賀札状
1162	同上		1月27日	中嶋新一郎	同上	1	お禮み札状
1163	同上		12月16日	石任兵衛、他	同上	1	石任兵衛御賀祝いの札状

文書番号	表 題	年 代	差 出	宛 先	数	備 考
1164	書 簡	01-126日	福井三四郎、他	元慶寺	1	書中見解札状
1165	同 上	01月	双林寺	同上	1	病状写体書提出のこと
1166	書簡(控)	6月20日	元慶寺	藤田勘太夫、他	1	大隆院17回早瀬内状
1167	同 上	7月4日	杉江安兵衛、他	同上	1	大隆院17回早瀬内状
1168	書 簡	11月9日	大沢辰1郎、他	元慶寺	1	戸田忠徳傳子他高階寄の取
1169	目 録	1012月		元慶寺	1	唐状目録
1170	書 簡	12月16日	加古三平、他	元慶寺	1	料違お返通知
1171	書簡(控)	10月16日	元慶寺	長岡川口之重、他	1	青光院200回唐玉冠修復寄附
1172	書 簡			元慶寺	2	
1173	同 上	11月30日	船村庄太夫	同上	1	伊豆守表のおのみみ札状
1174	同 上	7月5日	西田清助	同上	1	大隆院送納送り状
1175	同 上	12月23日	藤井石三、他	同上	1	内藤院方唐金子送り状
1176	書簡(控)下書			同上	1	修善寺法書
1177	書 簡	11月6日	大隆寺友之丞、前	元慶寺	1	大隆寺表の唐金のおのみみ札状
1178	同 上			同上	1	過去帳改書
1179	書 簡	8月10日	大隆寺高助	元慶寺	1	札 状
1180	祝 詞	大保12年9月12日	平兵衛	元慶寺、他	1	請取書
1181	書 簡	1月2日	藤田石工門、他	元慶寺	1	大隆院17回早瀬内状
1182	同 上	11月6日	寺野石工門、他	同上	1	年始代参拜の取
1183	同 上	12月22日	藤田石工門、他	同上	1	17回早瀬内状の送納送り状
1184	同 上	1月2日	藤田石工門、他	同上	1	年始代参拜西案内
1185	同 上	12月23日	藤田石工門、他	同上	1	高次郎唐子他高階寄取書
1186	同 上	案7月	元慶寺	大工村	1	先 籠
1187	書簡(控)	7月27日	同上	高橋鶴八	1	心齋寺相替修費見込依頼
1188	書 簡	2月2日	山内宗兵衛	元慶寺	1	前書修立見分
1189	同 上	12月15日	杉本仁兵衛、他	同上	1	書中見解札状
1190	同 上	7月4日	杉江安兵衛、他	同上	1	大隆院17回早瀬内状の送納送り状
1191	同 上	17月15日	山内清内、他	同上	1	書中見解札状
1192	同 上	7月4日	船谷三太夫	同上	1	大隆院17回早瀬内状の送納送り状
1193	同 上	3月9日	太隆寺典藏、他	同上	1	高瀬和送り状
1194	同 上	12月9日	太隆寺友之丞	同上	1	書中見解札状
1195	同 上		藤川寺 左工門	同上	1	五十箱お目見え和唐代参納西案内状
1195-2	同 上				1	
1195-3	目 録				2	西2枚
1195-4	同 上				3	法事供養料
1196	書 簡	12月30日	高山石工門	元慶寺	1	札 状
1197	目 録	7月11日	藤井清左工門		1	書
1198	書 簡	6月28日	藤田勘太夫、他	元慶寺	1	送納送り状
1199	目 録	3月27日			1	法事料給付覽
1200	書 簡	12月22日	大木八郎	元慶寺	1	書中見解札状
1201	同 上	1月2日	高山藤兵衛、他	同上	1	年始代参拜内状
1202	同 上	10月11日	船谷徳助、他	同上	1	書中見解札状
1203	同 上	1月12日	秋光院清盛	同上	1	修善寺札
1204	同 上	3月24日	双林寺	同上	1	唐院通知
1205	同 上	9月8日	山内源次郎、他	同上	1	心齋川御修費印付報告
1206	同 上	8月16日	高田清七郎、他	同上	1	札 状
1207	同 上	8月11日	秋庄源平左	同上	1	入部札内状
1208	同 上	8月14日	藤原平左	同上	1	札 状
1209	同 上	2月4日	秋田馬守	同上	1	飯盛祝ひ札状
1210	同 上	10月12日	長岡川口之重、他	同上	1	札 状
1211	同 上	1月16日	藤田石工門	同上	1	年鑑札状
1212	同 上	9月12日	藤田勘太夫、他	同上	1	庄米印成書渡しのこと
1213	同 上	7月25日	石川藤兵衛、他	同上	1	庄米印成書の上京見合せの取
1214	同 上	1月2日	太隆寺友之丞	同上	1	若殿への年賀札状
1215	同 上				1	大隆院200回唐玉冠修復寄附書
1216	書簡(控)		船村庄太夫、他		1	唐院通知のこと
1217	書 簡		林正左工門、他	元慶寺	1	庄米料について
1218	同 上		藤原藤藏	同上	1	修善寺家康所考の唐院依頼
1219	同 上	7月18日	藤田源次郎、他	元慶寺	1	光盛寺焼火につき元慶寺にて但高寺の修善寺御願の返書
1220	同 上	5月19日	大木八郎、他	同上	1	修善寺御願の返書
1221	同 上	7月13日	藤田源次郎	元慶寺	1	但馬守修費依頼
1222	同 上	5月27日	船谷藤兵衛	同上	1	三浦初書札状
1223	同 上	4月27日	藤田石工門	同上	1	但馬守修費向不取願の通知
1224	同 上	1月25日	秋光院清盛	同上	1	年賀札状
1225	同 上	12月16日	相田新五左工門	同上	1	青光院200回唐玉冠修復寄附書の返書
1226	同 上	5月1日	藤田九左工門	同上	1	青光院法事の返書
1227	同 上	10月20日	杉本石工門	同上	1	修善寺再建につき修善寺につき費用の取を寄附する
1228	書簡(控)	亥6月28日	元慶寺		1	大和守稲屋に伴ひ國許修善寺村州州の件
1229	書 簡	戌1月26日	市川清内、約	元慶寺	1	守齋札状
1230	同 上	7月17日	杉江徳工門	同上	1	修善寺修費御願の取
1231	同 上	2月	小倉七郎、他	同上	1	左衛門守藤兵衛に付き修善寺報告の唐子書生のこと
1232	同 上	2月3日	下木藤藏	同上	1	大隆院表のおのみみ札状

文書番号	表 題	年 代	差 出	宛 先	数	備 考
1233	書				1	江別紙取計めのこと
1234	家屋匠ノ取				1	
1235	書 簡	6月10日	新田源七郎、他	元景寺	1	表門西建寄付のこと
1236	同上	12月18日	岩川源助	同上	1	茶菓料送りの状
1237	同上	3月28日	杉江盛石工門	同上	1	堂堂建替懸い懸河のこと
1238	同上	2月28日	高西三太夫	同上	1	生簀巻礼状
1239	同上	6月26日	新田玄工門、他	同上	1	簀中見舞礼状
1240	家次寺懸付表簡	寛永19壬午			1	
1241	書 簡	2月17日	岩田庄太夫、他	元景寺	1	清三部御子祝いの状
1242	同上	午6月20日	秋元石近	同上	1	簀中見舞礼状
1243	同上	8月19日	和田降頼、他	同上	1	同上
1244	同上	1月5日	奥田其石工門、他	同上	1	礼、状
1245	同上	2月20日	横井源太夫、他	同上	1	
1246	同上	12月29日	藤原敏敏、他	同上	1	簀中見舞礼状
1247	同上	12月19日	新田玄工門、他	同上	1	同上
1248	同上	11月26日	尾島源社工門	同上	1	入院御いさつ状
1249	同上	2月1日	秋田馬守	同上	1	年始礼状
1250	同上	8月20日	岩太右衛門工門	同上	1	大陣御替儀御供の節の礼状
1251	同上	6月4日	秋元昌馬守	同上	1	男子出生祝い礼状
1252	同上	8月8日	秋田馬守	同上	1	毛利日向守死去の発願に対する礼状
1253	書				1	17世澤入院題目表御目録
1254	書 簡(下書)	8月10日	小候七郎、他	元景寺	2	心願御寺傳書本願堂(山内)のこと 上層敷焼失承知のこと
1255	書 簡	12月7日	元景寺	小候七郎、他	1	
1256	同上	8月17日	高山彌兵衛、他	元景寺	1	簀中見舞礼状
1257	同上	2月7日	山田和八郎、他	同上	1	御替儀乃より礼状
1258	同上	2月5日	村山隆解中	同上	1	年始礼状
1259	同上	12月26日	前山十右衛門	同上	1	伊賀守へのお極み礼状
1260	同上	12月9日	太閤寺共進	同上	1	御書院200回忌表御簡
1261	同上	4月2日	双林寺普濟和南	同上	1	入山通知
1262	同上	12月20日	元景寺玄英	秋元石近、他	1	春光院250回忌普請御礼
1263	同上	酉12月	高山玄玄工門、他	元景寺	1	簀中見舞礼状
1264	同上	4月	元景寺	大畑内直助、他	1	山内御建替の御簡
1265	書	11月3日			1	御初穂御寺傳料目録
1266	書 簡	12月29日	大沢九郎左衛門工門	元景寺	1	御目録室内状
1267	同上	12月27日	遠谷左兵衛、他	同上	1	焼失見舞金礼巻子送り状
1268	同上	8月	岩田小十郎、他	同上	1	御馬守玉瑞(1万石)通知
1269	同上	1月26日	高取友了四郎、他	同上	1	弘根料兼基料例年通りでの送り状
1269-2	目録その他				8	
1269-3	書				4	
1270	書 簡	6月7日	高山彌兵衛	元景寺	1	簀中見舞礼状
1271	同上	同上	寺田權太夫、他	同上	1	同上
1272	同上	同上		同上	3	
1273	同上	1月2日	大塚新助	同上	1	石清堂所等の世談依納
1274	大納言のいり札					
1275	書 簡	3月15日	大木半兵衛	元景寺	1	願所玉返表根替御書院司
1276	同上	8月29日	元景寺		1	法事目録
1277	書 簡	12月26日	林庄玄工門、他	元景寺	1	簀中見舞礼状
1278	同上	酉12月28日	太閤寺共進	同上	1	簀中見舞礼状
1279	同上	1月2日	關瀬下右門	同上	1	年始名代ご極みをつけ、春光院玉返表簡の状況見分
1280	同上	開治3年1月17日	安中兼夫、他	同上	1	年始礼状
1281	同上	12月2日	双林寺普濟和南	同上	1	入席通知
1282	同上	11月5日	女屋源太夫	同上	1	礼、状
1283	同上	12月20日	徳田十左衛門	同上	1	簀中見舞礼状
1284	同上	6月24日	岩井内匠介	同上	1	大陣御替儀御供の節の依納
1285	同上	2月8日	秋田馬守	同上	1	年始礼状
1286	同上	2月	岩井内匠介、他	同上	1	同上
1287	同上	11月18日	秋元石近	同上	1	主人正へのお極み礼状
1288	書	文政9年8月			1	天知岩用水のこと關東古戦録山王小幡倉倉御書院
1289	書 簡	万延1年12月18日	秋元石近	元景寺	1	簀中見舞礼状
1290	同上		小塚内蔵介	同上	1	簀中見舞礼状
1291	同上	1月3日	岩田敏助、他	同上	1	簀中見舞礼状
1292	同上	12月21日	岩田平左衛門工門	同上	1	清宮院位階納め依納状
1293	同上	12月16日	横玉玄工門	同上	1	清宮院遺地納め依納状
1294	同上	6月3日	太閤寺内匠介工門	同上	1	入院題目御いさつに際し、萬物の礼状
1295	同上				4	
1296	同上	8月11日	藤原敏敏、他	同上	1	御書院の状
1297	同上	6月6日	元景寺	高山清玄工門	1	春光院200年忌法要御いさ
1298	同上	己7月			4	
1299	同上	6月3日	中中源左工門、他	元景寺	1	春光院250年忌に備えての極簡基礎の金寄御書
1300	同上	6月26日	高西三太夫、他	同上	1	大陣御替儀依納及び代懸御書院心懸院石灯籠完成及び法名改号願
1301	同上	10月26日	元景寺	岩田新助、他	1	

文書番号	表 題	年 代	発 出	宛 先	数	備 考
1302	書 簡	10月12日	元景寺		1	大江山部寺修業所加金銀い書 長右衛門式おゆみの札状
1303	同上	2月1日	小堀七郎、他	元景寺	1	
1304	同上	6月13日	岡崎兵八郎	同上	1	印州御成につき文の法号を過去 帳に書留下さるよう文書所の世 話依頼
1305	同上	2月9日	秋元権人正	同上	1	札 状
1306	書簡下書き				1	年貢米のごと
1307	書簡(250口等)月録				1	
1308	書 簡	10月10日	林正左工門、他	元景寺	1	院内修繕前の返書
1309	同上	未6月31日	持田金五郎	同上	1	院内山門修繕員分度室内のごと
1310	同上	1月2日	高山文左工門	同上	1	御薬酒
1311	同上	未6月24日	持田金五郎、他	同上	1	竹矢来、門完成
1312	同上	6月17日	高山源兵衛	同上	1	法要立元につき修繕書下取立
1313	同上	万延1年12月18日	中尾昌三郎、他	同上	1	寒中免舞札状
1314	同上	12月16日	小堀七郎、他	同上	1	伏魔門件目録祝札状
1315	同上	4月17日	渡辺清一郎、他	同上	1	銘の儀依頼書
1316	同上書簡	寛10月	上州白井双林寺	寺社御奉行所	1	お白免状
1317	書 簡	12月11日	西園九石工門	元景寺	1	書院証筆札状
1318	同上	12月19日	小堀七郎、他	同上	1	心懸石工舞完成の御
1319	先般状	2月20日	秋元左衛門成		1	但馬守義範相送の先般状
1320	書簡(下書き)	3月3日	元景寺	高田勘太夫	1	上様宛、1巻外紙
1321	書 簡	8月10日	徳安右工門、他	元景寺	1	位牌塗磨料査し状
1322	同上	6月7日	藤原鶴雄、他	同上	1	清徳院200回忌法要依頼
1323	同上	戊辰1月	太徳友之丞、他	同上	1	年舞札状
1324	書簡下書き				1	新 状
1325	書 簡	安政4年12月20日	秋元石近	同上	1	寒中免舞札状
1326	同上	12月20日	田中八兵衛	同上	1	江朝及び南川1250年忌のごと
1327	号	4月15日	大納言	同上	1	徳壽院位牌法書
1328	書 簡	12月29日	沼谷徳勝介、他	同上	1	寒中免舞札状
1329	同上	文久1年2月2日	矢野一学、他	同上	1	年舞札状
1330	同上	安政一石1日、他		同上	1	修験に對する札状
1331	同上	2月3日	松尾忠助、他	同上	1	寒中免舞札状
1332	同上	7月12日	徳右工門、他		1	位牌塗磨依頼書のごと
1333	同上			元景寺	3	
1334	同上	4月23日	秋右馬守	同上	1	入院あいさつ状
1335	同上	亥3月26日	渡辺弥三郎、他	元景寺	1	牛鹿洞は元景寺に建つべきこと
1336	同上	1月15日	山藤新左工門	元景寺	1	年舞札状
1336・2	目 録				2	院内料
1337	升の錠				1	長4寸×1尺
1338	宗鉢	明治			1	
1339	書 簡				1	
1340	短 冊				1	御同往儀くさ西山
1341	心懸石200年忌式次第				1	
1342	獨家13回忌通知文	江戸			1	
1343	坐席帳				1	
1344	石段文				1	
134b	同上				1	No1344と一連のもの
1346	心懸院殿祭文		秋元右馬守 鎌原久朝		1	正徳5年立役、延享3年家、寛 政11年去道、享和3年宝徳地、 文政9年石燈臺
1347	大降院13回忌位牌分引	本月初9日			1	
1348	位牌分指表				1	典書箱
1349	大降院殿33年忌(白塚)式 次第				1	
1350	御儀位牌分指表				1	
1351	常川和内外去道羅文	江戸			1	
1352	春分夜飯20回忌法要次第	江戸末			1	10口〜20口まで
1353	御儀位牌分指				1	6分指
1354	掲 示				1	御書庫番表
1355	式次第				1	狂をとらざる願1冊〜6冊
1356	掲示簿	明治			9	
1357	接収紙	寛政元禄歳月上毎			1	
1358	同上				1	
1359	拓 本	江戸			1	詠 歌

元景寺什物目録

種類番号	表 題	年 代	備 考
2001	平心院殿御遺物(せらい)	安永7年8月	秋元清津守 径63 高20.6
2001-2	〃 (水さし)		径19.6 高19.6
2002	かごのり	文化7年7月	心懸院殿御遺物、64.6×53.5 大降院殿御遺物
2003	御遺物類(6点)		二本足
2003-1	(せらい)		
2003-2	(水さし) 大		鎌倉口にふた付
2003-3	〃		
2003-4	(ひつ)		
2003-5	(水さし) 小		
2003-6	(しやち)		
2004	かご(2点)		住持用

あとがき

文化財保護法第一条に「この法律は、文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的とする。」と、法の目的が記されていますが、同時にその内容は文化財保護行政に携わる者の原点とされるべきものといえます。本報告書18集は、こうした意味で62年度に文化財保護室が実施した事業の全てについてその概要を記したのですが、単に記録にとどめることを目的としているのではなく、これをきっかけとして各々の文化財が保護され活用されることを願って刊行されるものです。

62年度整備事業の中で「総社歴史散歩道」整備は、個々の文化財を線的に結ぶことを目的として道標を設置したもので、充分とは言えないまでも本市史跡整備が活用を目あてとして次の段階に進んだ証しと考えられます。本事業終了予定の64年度には、前橋・新前橋・群馬総社各駅から総社地区を中心とした文化財の史跡散歩ができるようになってきている筈です。そしてこの手法が将来的には市内全域を対象として、点的整備から線の整備、面的整備へとより広域化されてゆくことと思います。

よりたくさんの方々が、ハンドブック、マップを片手あるいは石仏の前で、あるいは古墳の前で立ちどまっている姿を思い浮かべながら、63年度の事業に取り組んでゆきたいと考えております。

昭和62年度

前橋市教育委員会

文化財保護室	室長	福田 紀雄
文化財保護係	係長(兼)	福田 紀雄
	主任	高橋 正男
	主任	井野 修二
	主任	中野 和夫
	主事	中野 覚
埋蔵文化財係	係長	浜田 博一
	主任	遠藤 和夫
	主任	駒倉 秀一
	主任	園部 守央
	主任	井野 誠一
	主任	前原 豊
	主任	桑原 昭
	主事	関根 吉晴
	編託	新保 一美
	嘱託	加部 二生

前橋市文化財調査委員

議長	近藤 義雄
	中沢 右吾
	丸山 知良
	松島 栄治
	梅沢 重昭

昭和62年度 文化財調査報告書 第18集

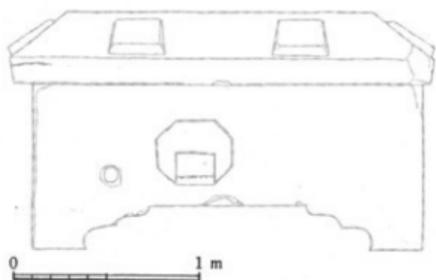
昭和63年8月31日印刷

昭和63年9月1日発行

発行 前橋市上泉町664-4

前橋市教育委員会文化財保護室

印刷 上田印刷工業株式会社



宝塔山古墳家形石棺